

1. 思春期の性生理 (二次性徴、月経、射精、自慰など) に関する文献

- 黒川義和ら (1981) : 思春期の男の子をもつ母へ、日本家族計画協会 (東京), P.41
- 黒川義和 (1981) : 学校教育に立場から見た思春期の男の子・そのからだと心、思春期医学、4 ; 50 - 54
- 関克義 (1981) : 防衛医大病院小児思春期婦人科外来の現況について、思春期医学、4 ; 12 - 16
- 足高善彦 (1982) : 無月経とくに若年者、未婚女性を対象として、産婦人科の実験、31 (6) ; 889 - 895
- 林謙治 (1983) : 思春期における心身の発達、公衆衛生、47 (9) ; 4 - 11
- 詫摩武俊 (1983) : 性の発達、小児医学、16 (6) ; 969 - 986
- 加藤隆吉 (1985) : 情緒障害とマスターベーションとの関係、思春期学、3 (1) ; 65 - 68
- 広井正彦 (1986) : 産婦人科医よりみた思春期の「性」、思春期学、4 (1) ; 6 - 8
- 末岡幹子 (1986) : 初潮年齢と生活・環境との関連及び初潮時の体格などについて、保健の科学、28 (4) ; 281 - 286
- 日本性教育協会 (1987) : 中学・高校・大学生の性行動白書、小学館 (東京)
- 小林拓郎 (1987) : 思春期と婦人科、からだの科学、134 ; 74 - 78
- 小林文彦 (1987) : 子供の成長と性の発達、児童心理、41 (2) ; 19 - 25
- 斎藤誠一 (1987) : 思春期における身体意識について、上越教育大学研究紀要、6 ; 79 - 91
- 佐藤輝美 (1987) : 思春期女子 (10代) の性周期に関する研究 (その2)、福岡県看護専科論集、10 ; 179 - 189
- 望月真人 (1988) : High Risk な排卵障害へのアプローチ ; 若年婦人、未婚婦人における排卵誘発、産科と婦人科、55 (10) ; 2 - 7

- 堀口雅子ら (1988) : 学習雑誌の読者層からみた小・中学校中高年女子の「からだの変化・成長・月経」などに関する意識調査について、思春期学、6 (1) ; 18 - 26
- 北村邦夫 (1989) : 思春期外来の経験を通して、日本医師会雑誌、101 (10) ; 1704 - 1706
- 日野林俊彦 (1990) : わが国の初潮年齢、産婦人科治療、60 (2) ; 145 - 149
- 大倉恭輔ら (1990) : 青年女子の性意識に関する研究 (マスターベーション行動とその位置づけについて)、思春期学、8 (3) ; 351 - 358
- 大井伸子ら (1990) : 女子中学生の初経ならびに月経に関する調査 - 1 (初経の状況)、思春期学、8 (2) ; 147 - 152
- 森崇 (1990) : 10代の心身症、産婦人科治療、60 (2) ; 180 - 183

2. 思春期の性意識 (性心理) に関する文献

● 2-1. 性意識 (性知識、性規範を含む) の実態 (男女・年齢別)

- Schoof - Tams, K. ,et al.(1976) : Differentiation of sexual morality between 11 and 16 years, Archives of Sexual Behavior, 5 (5) ; 353 - 370
- Rubenstein, J. S. ,et al.(1976) : Young adolescents' sexual interests, Adolescence, 11 (44) ; 487 - 496
- 山田文夫 (1978) : 女性の性知識に関する調査、思春期医学雑誌、1 ; 17 - 18
- 朝山新一 (1978) : 医学部学生の性知識をテストする、現代性教育研究、10月号、P.60
- 荒川靖子 (1978) : 日本の性の実態報告、ダイヤル避妊相談
- 山田文夫 (1979) : 性に関する相談ラジオ番組の質問内容について、思春期医学、2 (1) ; 15 - 17
- 武田敏ら (1980) : 医学生性の性知識と性教育の必

- 要性、Sexual Medicine, 8 (10) ; 30
- 加藤宏一 (1981) : 性教育について、思春期医学雑誌, 4 ; 23 - 27
- 加藤宏一ら (1981) : 思春期男女の性意識、産婦人科の実際, 30 ; 1923
- 山本直英 (1981) : 学校教育現場における性問題の実態、産と婦, 48 ; 1013
- 田島ヒデ (1981) : 学校教育現場における性問題の実態、産と婦, 48 ; 1008
- 藤本巖 (1981) : 日本の子どもの性と人間関係に関する調査
- 白井将文ら (1983) : 現代医学生の性知識と性教育の必要性、思春期学, 1 (3) ; 5 - 11
- 白井将文 (1983) : 現代医学生の性知識と性教育の必要性、思春期学, 1 (3) ; 5 - 11
- 菊池寿美子 (1984) : 1982年度「こどもテレホン相談」の現況、思春期学, 2 (1) ; 59 - 65
- 菅井亮世ら (1984) : 高校生の性知識、思春期学, 2 (3) ; 75 - 79
- 藤原美幸 (1984) : 望まれる10代のためのクリニック、現代性教育研究月報, 2 (2) ; 4 - 5
- 鎌倉市教育委員会 (1984) : かまくらっ子、中学生の思考(なやみ)と性意識
- 下東艶子 (1984) : 婦人教師層の家庭における家事労働負担にかんして、比治山女子短期大学紀要, 18 ; 87 - 100
- 竹村喬ら (1984) : 母性保護から見た思春期性教育の課題、ペリネイタルケア, 3 (7) ; 29 - 35
- 中出和子ら (1985) : 母親の性に関する知識の現状について ; 思春期の子供をもつ母親へのアンケート調査から、神奈川公衛会誌, No.30, P.13 - 14
- 黒川義和 (1985) : 思春期の電話相談、周産期医学, 15 (2) ; 263 - 267
- ダイアナ・S・モーレ (1985) : ロスに住む各人種集団の10代の性知識・意識の研究、ペリネイタルケア, 4 (2) ; 95 - 98
- 山田香代ら (1986) : 伊奈保健所近郊の高校生の性意識調査、思春期学, 4 (1) ; 56 - 61
- 広井正彦 (1986) : 産婦人科医よりみた思春期の「性」、思春期学, 4 (1) ; 6 - 8
- 毎日新聞社人口問題調査会 (1986) : 毎日新聞社第18回全国家族計画世論調査報告書、毎日新聞社(東京)
- 田中潤子 (1987) : 子供の中の性 異性を好きになるとき、児童心理, 41 (2) ; 46 - 50
- 可世木辰夫ら (1987) : 思春期保健電話相談の経験と反省、思春期学, 5 (2) ; 173 - 180
- 阪西通夫ら (1987) : 山形市における女子高校生の性に関する実態調査、思春期学, 5 (4) ; 550 - 555
- 田村健二 (1987) : 家族周期の問題 その2、児童心理, 41 (2) ; 136 - 143
- 島越信 (1987) : 児童文学と性、児童心理, 41 (2) ; 94 - 101
- 中神洋子 (1988) : 街頭の小さな生活者たち、子供と家庭, 25 (2) ; 16 - 23
- 福富護 (1988) : 性成熟の心理、学校保健研究, 30 (10) ; 456 - 460
- 奈良林祥 (1987) : 性をめぐる新旧価値観の対立と葛藤、児童心理, 41 (2) ; 63 - 69
- 日本性教育協会 (1987) : 中学・高校・大学生の性行動白書、小学館(東京)
- 東京都幼稚園・小・中・高等学校性教育研究会連絡協議会 (1987) : 新 児童生徒の性、学校図書(東京)
- 札幌市教育研究所 (1987) : 児童・生徒における男女の意識差と問題行動に関する研究 (第1年次)
- 可世木辰夫 (1987) : 思春期保健電話相談の経験と反省、思春期学, 5 (2) 173 - 179
- 三浦正子 (1987) : 非行少女の「愛」と「性」、青年心理, 65 ; 46 - 49
- 三浦正子 (1987) : 非行少女にみる「性」の諸相、少年補導, 32 (9) ; 20 - 26
- 間宮武 (1987) : 子どもの性意識と性行動、児童心理, 41 (2) ; 1 - 11

- 宮越洋二ら (1988) : 福井愛育病院思春期相談室の現況、思春期学、6 (1) ; 66 - 71
- 片岡洋子 (1988) : 子供たちのアイドル素描、教育、38 (6) ; 71 - 80
- 北村陽英 (1988) : 心の発達と性、こころの科学、19 ; 106 - 112
- 高村寿子 (1988) : 女子大生のセクシュアリティに関する研究、思春期学、6 (1) ; 45 - 53
- 札幌市教育研究所 (1988) : 児童・生徒における男女の意識差と問題行動に関する研究 (第2年次)
- 毎日新聞社人口問題調査会 (1988) : 毎日新聞社第19回全国家族計画世論調査報告書、毎日新聞社 (東京)
- 斉藤麗子ら (1988) : 小中学生の性に関する意識調査、思春期学、6 (1) ; 27 - 32
- 渡辺尚ら (1988) : 高校生の性意識と実態、ならびにその分析、思春期学、6 (1) ; 39 - 44
- 宮越洋二ら (1988) : 福井愛育病院思春期相談室の現況、思春期学、6 (1) ; 66 - 71
- 杉浦賢長ら (1988) : 大学生の性知識に関する調査、思春期学、6 (4) ; 397 - 401
- 西浜早苗 (1988) : 月刊少女雑誌における電話相談の実態、(主に妊娠の心配に関する相談内容について)、思春期学、6 (1) ; 72 - 76
- 白井なおみら (1988) : 中学生と中学生をもつ親の「性」に関する意識および家庭における性教育の現状、思春期学、6 (4) ; 402 - 408
- 高橋健太郎ら (1988) : 出雲地区における高校生の性意識に関する検討、思春期学、6 (4) ; 409 - 415
- 長池博子 (1988) : 地域診療所に見る性の相談、産婦科MOOK、40 ; 269 - 272
- 福原保子 (1988) : 性自認と性成熟 ; 小学校における指導、学校保健研究、30 (10) ; 461 - 465
- 山本チエ子ら (1989) : 性教育についての意識調査、思春期学、7 (1) ; 90 - 93
- 森下節子ら (1989) : 看護学生の意識調査 (生活規範・性的規範を中心に)、思春期学、7 (2) ; 198
- 黒田裕子ら (1989) : 性意識の世代差に関する一考察、思春期学、7 (3) ; 243 - 250
- 松岡恵ら (1989) : 小学生女子が母親から得た性に関することばの理解について、思春期学、7 (3) ; 251 - 255
- 福武書店教育研究所 (1989) : 高校生と性 (モノグラフ・高校生'89、vol. 26)、福武書店 (東京)
- 牧野暢男 (1989) : 現代青年の性役割意識、日本女子大文学部紀要、38, p.67 - 81
- 安沢菊江ら (1989) : 現代青年の性意識・性行動に関する実態調査、(東北地方の大学生と関東地方の大学生の比較から)、思春期学、7 (3) ; 256 - 263
- 伊藤幸子ら (1990) : 思春期保健電話相談にみる現況、思春期学、8 (3) ; 317 - 320
- 江口みどり (1990) : 保健婦と高校生をもつ母親の性意識に関する一考察 ; 地域保健へのアプローチの土台として、専攻課程特別演習集録、国立公衆衛生院、p.239 - 249
- 大木久美子ら (1990) : 高校生の性別役割意識と家庭生活、生活文化研究、32 ; 55 - 76
- 高橋健太郎 (1990) : 出雲地区における中学生の性に関する意識調査、思春期学、8 (3) ; 344 - 350
- 中川八重 (1990) : Q. 中学生の性意識の実態を把握するには、健康なこども、19 (2) ; 21 - 23
- 北村邦夫 (1991) : 思春期の性の悩みとその対応、思春期学、9 (1) ; 48 - 52
- 安住多代ら (1991) : 都立S商業高校3年生の性意識について、思春期学、9 (2) ; 140 - 144
- 三木洋子ら (1991) : 高等学校における性意識調査から、思春期学、9 (2) ; 145 - 150
- 山根俊夫ら (1991) : 中学校生徒の性意識と思春期保健のあり方、島根医学、11 (1) ; 49 - 52
- 山根俊夫ら (1991) : 中学校生徒の性意識と思春期保健のあり方、島根医学、11 (1) ; 49 - 52

マスコミの影響など

- 吉村友次郎 (1926) : 少年審判所における保護処分、育児雑誌、7 (1) ; 4 - 8
- 山田文夫 (1979) : 性に関する相談ラジオ番組の質問内容について、思春期医学雑誌、2 ; 15 - 17
- 石濱淳美 (1980) : 10代の性行動とその問題点、小児科、21 ; 477 - 484
- 国分義行 (1983) : 21世紀を担う10代の子供たちと社会、小児保健研究、42 (4) 381 - 398
- 武田敏ら (1984) : 性情報の功罪、学校保健研究、26 (11) 533 - 537
- 菅野拓也 (1984) : 雑誌に見る若者たちの性情報、青年心理、47 ; 63 - 69
- 飯島圭子ら (1984) : 視聴覚教材による性知識の伝達効果について (高校生の性情報源との関連において)、思春期学、2 (2) ; 32 - 38
- 菊池寿美子 (1984) : 1982年度「こどもテレホン相談」の現況、思春期学、2 (1) ; 59 - 65
- 内山絢子 (1985) : 風俗環境と少年非行、法律時報、57 (7) ; 13 - 17
- 出海光子 (1985) : 被虐体験、少年補導、350 ; 34 - 38
- 神山憲一 (1985) : 最近の少年非行情勢、警察公論、40 (5) ; 69 - 74
- 麦島丈夫 (1985) : 逸脱的性風俗が少年に与える影響について、警察学論集、38 (10) ; 1 - 19
- 麦島丈夫 (1985) : 性風俗環境が少年の非行化に及ぼす影響についての行動科学的検討、刑法雑誌、26 (34) ; 153 - 170
- 山崖俊子 (1985) : 思春期に問題行動を示す子供の母親イメージ、小児の精神と神経、25 (1) ; 5
- 山本健 (1986) : 少年非行とマスコミ、犯罪と非行、70 ; 136 - 152
- 森忠繁ら (1986) : 滋賀県の中学生の性的関心、性知識と性情報源および性的行動との関連、学校保健研究、28 - (9) ; 441 - 449
- 伊藤富士江 (1986) : 少女をとりまく性情報、日刊生徒指導、16 (17) ; 15 - 21
- 君和田和一 (1986) : テレクラと女子生徒 - その実態と新しい課題 -、月刊生徒指導、16 (17) ; 30 - 37
- 須永和宏 (1986) : 非行の中に見る中・高生の性、月刊生徒指導、16 (17) ; 22 - 29
- 内山絢子 (1986) : 盛り場を中心とする有害環境と少年非行、犯罪と非行、70 ; 107 - 135
- 内山絢子 (1986) : マス・コミに描かれた逸脱行動に対する非行少年の認知、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、27 (1) ; 118 - 126
- 小坂英子 (1986) : グリーンライン電話相談あれこれ、少年補導、31 (4) ; 18 - 23
- 近藤 正 (1986) : 青少年の「社会参加」の諸相考、青少年問題、33 (1) ; 24 - 29
- 門野晴子 (1986) : 性情報のコントロールの在り方、児童心理、40 (15) ; 182 - 186
- 泉美智子 (1987) : 電話相談から見た少女たちの性 - 体の変化に一人で悩み「私だけの彼」を追い求める、高校教育展望、12 (7) ; 26 - 31
- 原田留美子 (1987) : 学校ではお嬢さましている ; 女子高校生の生と性、ひと、15 (8) ; 28 - 33
- 内山絢子 (1987) : 有害環境と少年非行、警察研究、58 (10) ; 17 - 32
- 稲村博ら (1988) : 思春期臨床事例の問題発生要因と治療成果から見た父親・母親の役割に関する研究 (第1報)、安田生命社会事業団研究助成論集、20 (2) ; 10 - 20
- 青木英子 (1988) : 新潟市における中学生の日常生活および性に関するアンケート調査について、思春期学、6 (1) ; 33 - 38
- 松浦賢長ら (1988) : 大学生の性知識に関する調査、思春期学、6 (4) ; 397 - 401
- 高村寿子ら (1988) : 女子大生のセクシュアリティに関する研究、女性性の理解と性にかかわる意志決定の可能性、思春期学、6 (1) ; 45 - 53
- 斎藤麗子 (1988) : 小中学生の性に関する意識調査、思春期学、6 (1) ; 27 - 32
- 佐藤典子 (1988) : 女子少年と非行と特徴とその問

- 題点、法律のひろば、41 (11) ; 28 - 37
- 梶浦真由美 (1988) : 夫婦関係の子供に及ぼす影響、大阪教育大学紀要、37 (1, 2) ; 41 - 56
- 船橋邦子 (1988) : マンガ雑誌の性描写 ; 性のイメージはどうつくられるか、月刊生徒指導、18 (9) ; 46 - 51
- 内山 源 (1989) : 高校生活とせいに関する意識・行動との関連、月刊生徒指導、19 (3) ; 38 - 45
- 佐藤典子 (1989) : 性非行の推移、更生保護、40 (5) ; 12 - 17
- 黒田裕子 (1989) : 性意識の世代差に関する一考察、思春期学、別冊 7 (3) ; 243 - 250
- 深尾勝子 (1989) : 性はどのように捉えられ、扱われているか、ジャーナリズム的立場から、思春期学、7 (1) ; 30 - 33
- 石田英子 (1989) : 児童期における性役割の獲得 - 性役割観と性役割行動の発達からの検討 -、人間科学研究、11 ; 83 - 95
- 青少年育成国民会議 (1989) : 青少年の自存行為を防止しよう - たばこ・アルコール・麻薬・性 -、1 - 44
- 山本国話 (1989) : 戦後史のゆがみが生んだポルノ天国、教育と医学、37 - (6) ; 91 - 97
- 北海道生活福祉部 (1989) : 図書・ビデオソフト自動販売機及びビデオレンタル店等の状況
- 丸木正臣 (1990) : ビデオ時代と子供の発達・歪み、生活教育、495 ; 32 - 36
- 石濱淳美 (1990) : 思春期女子の「性」、産婦人科治療、60 (2) ; 133 - 138
- 深谷和子ら (1990) : 女性雑誌と性情報 ; 内容分析の手法を用いて、東京学芸大学紀要 (1部門)、41 ; 253 - 277
- 石川弘義 (1990) : 思春期の社会心理、周産期医学、20 (5) ; 715 - 717
- 石橋智昭ら (1990) : 大学生女子の性モラル意識に関する調査研究 (性教育の履修による比較分析を含めて)、思春期学、8 (3) ; 331 - 336
- 石橋智昭ら (1990) : 高校生女子の性モラル意識に関する調査研究、(大学生との比較を通して)、思春期学、8 (3) ; 337 - 343
- 鈴木 晶 (1990) : 現代性教育と映像文化、生活教育、495 ; 18 - 24
- 塚田久恵ら (1990) : 中学生の性意識形成に及ぶ家庭・地域環境の影響、思春期学、8 (2) ; 153 - 158
- 内山絢子 (1990) : 青少年の非行とその対策、周産期医学、20 (5) ; 153 - 156
- 森下節子ら (1991) : 十代看護学生の性に関連する意識、思春期学、9 (2) ; 135 - 139

3. 思春期の性行動に関する文献

● 3-1. 性行動の実態 (男女・年齢別頻度、状況など)

- Chess, S. et al. (1976) : Sexual attitude and behavior patterns in a middle-class adolescent population, Amer. J. Orthopsychiat, 46 (4) ; 689 - 701
- Sexual Medicine 編集部 (1981) : 特別企画「ティーンエイジャーの性問題」、Sexual Medicine、8 (3)
- Lewin, B. (1982) : The adolescent boy and girl: first and other early experiences with intercourse from a representative sample of swedish school adlescents, Archives of Sexual Behavior, 11 (5) ; 417 - 428
- 荻野 博 (1983) : 青少年の性行動の実態、小児医学、16 (6) ; 987 - 1000
- 片桐清一 (1983) : 若年妊娠をめぐる諸問題、助産婦雑誌、37 (2) ; 133 - 136
- 石田文太 (1986) : 小田原市某定時制高生の性意識と性行動に関するアンケート調査、思春期学、4 (1) ; 51 - 55
- 石田文太 (1986) : 小田原市某定時制高校生の性意

- 識と性行動に関するアンケート調査、思春期学、4 (1) ; 51 - 55
- Bone, M.(1986) : Trends in single women's sexual behaviour in Scotland, Population Trends, 43 ; 7 - 14
- 市川 仁 (1987) : 電話相談と10代の性-その現状をめぐって-、比較文化、創刊号 ; 137 - 145
- 伊藤達也 : 生涯独身の可能性 生涯未婚率と合計初婚率など、
- 山田香代ら (1986) : 伊奈保健所近郊の高校生の性意識調査、思春期学、4 (1) ; 56 - 61
- 小林かよ子ら (1986) : 高校生の性経験とその背景について、思春期学、4 (1) ; 62 - 67
- 六川俊一ら (1986) : 矯正施設 (女子少年院) 収容者の性行動と意識・態度 (その1)、思春期学、4 (1) ; 68 - 72
- 圓山一俊ら (1986) : 短大生の喫煙と性行動、日本公衛誌、33 ; 695 - 699
- 日本性教育協会 (1987) : 中学・高校・大学生の性行動白書、小学館 (東京)
- 粕 潤一 (1986) : 雑誌の性情報は生徒たちに何をもたらしたか、月刊生徒指導、16 (17) ; 46 - 54
- 佐藤芳昭 (1987) : 米国における十代の性の現状、思春期学、5 (3) ; 383 - 388
- 東京都幼稚園・小・中・高等学校性教育研究会連絡協議会 (1987) : 新 児童生徒の性、学校図書 (東京)
- 伊藤富士江 (1987) : 女子少女による性非行に関する研究
1. 生活様式の逸脱度と性非行の態度との関連、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、28 (1) ; 52 - 62
- 青木英子 (1988) : 新潟市における中学生の日常生活および性に関するアンケート調査について、思春期学、6 (1) ; 33 - 38
- 柳井勉ら (1988) : 高校生の性の意識と行動に関する研究、大阪教育大学紀要 (V)、37 (2) ; 361
- 林 謙治 (1988) : 十代の妊娠をめぐる最近の動向、保健の科学、30 (2) ; 91 - 94
- 福田垂穂 (1988) : アメリカにおける青少年問題の現状とその対策 ; ティーンエイジャーの性行動、明治学院論叢、225 - 256
- 渡辺尚ら (1988) : 高校生の性意識と実態、ならびにその分析、思春期学、6 (1) ; 39 - 44
- 速水修ら (1988) : 教員志望学生の性意識・性行動に関する研究 (そのII) ; 性欲求と性行動、及びそれらの関連について、北海道教育大学紀要教育科学編、38 (2) ; 163 - 178
- 柳井勉ら (1988) : 高校生の性の意識と行動に関する研究、大阪教育大学紀要、第V部門、37 (2) ; 361 - 368
- 黒川義和 (1988) : 電話相談から見た思春期少女の性の実態、産婦人科MOOK、40 ; 264 - 268
- 佐藤芳昭 (1988) : 米国における学校性教育の実態と問題点、母性衛生、29 (2) ; 220 - 224
- 竹井 操 (1988) : 現代高校生の<性>意識行動、高校教育展望、12 (14) 20 - 25
- 西浜早苗 (1988) : 月刊少女雑誌における電話相談の実態、思春期学、6 (1) ; 72 - 76
- 滋賀県総合教育センター (1988) : 青少年の健全育成に関する研究-中学生の性に対する意識と行動について-、30 ; 1 - 33
- 原 純輔 (1989) : 現代青少年の性行動 ; JASE 全国調査から、周産期医学、20 (5) ; 5 - 9
- 安沢菊江ら (1989) : 現代青年の性意識・性行動に関する実態調査、(東北地方の大学生と関東地方の大学生の比較から)、思春期学、7 (3) ; 256 - 263
- 速水 洋 (1989) : 10代の性 ; 非行少年との関わりの中で、更生保護、40 (5) ; 29 - 32
- 福武書店教育研究所 (1989) : 高校生と性 (モノグラフ・高校生 89 vol. 26)、福武書店 (東京)
- 片野 卓 (1989) : 電話相談におけるテレフォンセックスの問題、中央学院大学比較文化研究、比

- 較文化、3 ; 179 - 206
- 金子秀子 (1989) : 矯正施設収容児における性意識並びに性行動に関する研究、京都教育大学紀要 B. 自然科学、74 ; 39 - 51
- 久保秀史 (1990) : 第8章 未婚者の性、記録日本の人口、出生への軌跡、毎日新聞社 (東京)、158 - 165
- 原 純輔 (1990) : 現代青少年の性行動 (JASEの全国調査から)、周産期医学、20 (5) ; 597 - 601
- 田能村祐麒 (1990) : 現代青少年の性行動 (都性研の調査から)、周産期医学、20 (5) ; 603 - 608
- 玉田太朗 (1990) : 思春期妊娠 - 日本産科婦人科学会の調査から、周産期医学、20 (5) ; 609 - 616
- 長池博子 (1990) : 若年者の性行動、日本医師会雑誌、104 (2) ; 195 - 199
- Marshall, E. (1991) : Sullivan overrules NIH on sex survey, Science, 253 : 502
- 3 - 2. 性行動の要因 (なぜある子は性行動を起こし、ある子は起こさないのか)
- Collins, J. K., et al. (1976) : Insights into a dating partner's expectations of how behavior should ensue during the courtship process, J. of Marriage and the Family, 38 ; 373 - 378
- 武田敏ら (1981) : 思春期の欲求不満耐性と性教育、思春期医学雑誌、4 ; 28 - 32
- 武田 敏 (1983) : 思春期妊娠の性モラル、保健の科学、25 (8) ; 528 - 533
- 富士節子 (1985) : 少女の「非行」に思う、少年補導、352 ; 11 - 17
- 春田嘉彦 (1987) : 異性関係と女子非行、月刊生徒指導、17 (2) ; 102 - 109
- 武田敏ら (1988) : 日本人の性行動 - 性行為関連疾患 -、臨床科学、24 (12) ; 1559 - 1564
- 宮下和博ら (1988) : 「性行動」に対する中学生・高校生・看護教諭の意識の差異及び「日常生活」の意識との関係
- 三浦正子 (1989) : 非行少女と「性」; 「進んでいる」部分と「進んでいない」部分と、更生保護、40 (5) ; 18 - 24
- 武田敏ら (1989) : 青少年性行動調査データの検討、千葉大学教育学部教育相談研究センター年報、6 ; 107 - 115
- 黒川義和 (1981) : 学校教育の立場からみた思春期の男の子、そのからだと心、思春期医学雑誌、4 ; 50 - 54
- 石浜淳美ら (1984) : 若年妊娠と社会的背景、産婦人科の世界、36 (7) ; 503 - 508
- Newcomer, S. F. et al. (1984) : Mothers' influence on the sexual behavior of their teenage children, J. of Marriage and the Family, 46 (2) ; 477 - 485
- 福田正樹ら (1986) : 矯正施設 (女子少年院) 収容者の性行動と意識・態度 (その2)、思春期学、4 (1) ; 73 - 78
- 浅野史郎 : アメリカにおける子供の幸福
- 江幡玲子 (1986) : 女の子の性の乱れ・大人たちの責任、児童心理、40 (15) ; 143 - 149
- 六川俊一 (1986) : 矯正施設 (女子少年院) 収容者の性行動と意識・態度 (その1)、思春期学、4 (1) ; 68 - 71
- 小平良貞 (1987) : 十代妊娠の実態と対策、公衆衛生、51 (4) ; 232 - 238
- 上野千鶴子 (1987) : 想像を絶する大人たちの抑圧、ひと、15 (8) ; 34 - 39
- 伊藤富士江 (1987) : 女子少女による性非行に関する研究
2. 性非行の背景要因の分析、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、28 (1) ; 63 - 71
- 品川信良 (1987) : 若年者の妊娠分娩、産婦人科治療、55 (2) ; 183 - 187
- 田辺文夫 (1988) : 薬物中毒の治療処遇、罪と罰、25 (3) ; 16 - 23
- 石浜淳美 (1988) : 思春期女子の性と妊娠、からだの科学、138 ; 112 - 117

- 石原 務 (1988) : シンナーはなぜ衰えないか、少年補導、33 (10) ; 4 - 13
- 稲村 博 (1988) : 思春期の挫折による行動問題、小児科診療、51 (1) ; 65 - 70
- 内山絢子 (1988) : 性的逸脱、青年心理、70 ; 95 - 99
- 手島己内 (1989) : 薬物濫用少年に対する保護観察処遇について、罪と罰、1 (2) ; 28 - 36
- 内山絢子 (1989) : 性関連の福祉被害者の研究
2. 被害内容にみた社会的背景と行動特性、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、30 (2) ; 21 - 34
- Polit, D. F., et al.(1989) : Sex, contraception and pregnancy among adolescents in foster care, Family Planning Perspectives, 21 (5) ; 203 - 208
- Haurin, R. J. et al.(1990) : Adolescent sexual activity in the family context: the impact of older siblings, Demography, 27 (4) ; 537 - 557
- Flanigan, B., et al.(1990) : Alcohol use as a situational influence on young women's pregnancy risk - taking behaviors, Adolescence, 25 (97) ; 205 - 214
- 林 謙 治 (1990) : 中南米の性文化と家族計画 ; 特に思春期に視点をあてて、学校保健研究、32 (9) ; 410 - 413
- 圓山一俊ら (1991) : 某女子短大生の喫煙と性行動、(第2報) 飲酒および思春期の行動問題との関連について、日本公衛誌、38 ; 278 - 285
- 津谷典子 (1991) 「ヤング・アダルトの日米比較」、日本人口学会関東部会第7回研究報告会
- 3 - 3. 特に問題性の強い性行動 (売買春、強姦、家族内性愛など)
- 林 謙治 (1983) : 小児に対する性的虐待、小児医学、16 (6) ; 1001 - 1017
- 内山絢子 (1986) : 性非行、児童心理、40 (15) ; 114 - 119
- 柏熊路子 (1986) : 女子の性非行をめぐる、犯罪と非行、69 ; 167 - 183
- 金城清子 (1986) : 売買春 法はモラルを強要できるか、時の法令、1295 ; 34 - 47
- 辻 静憲 (1986) : 少女転落の軌跡、少年補導、31 (21) ; 38 - 439
- 松本良江 (1986) : 少女売春について思う、ジュリスト、(10月号) ; 69
- 日野宜千 (1987) : 性非行、児童心理、41 (8) ; 137 - 141
- 榎本一夫 (1987) : 非行・売春と無縁な少女を巻き込むテレクラ、月刊生徒指導、17 (5) ; 94 - 101
- 下山善三 (1988) : 家出少女に黒いわな、少年補導、33 (4) ; 15 - 19
- 山際久郎ら (1988) : 素描ある少年の軌跡 ; 女 (スケ) 連の領袖M子、犯罪と非行、76 ; 124 - 147
- 松本良江 (1988) : 性暴力、青年心理、71 ; 47 - 50
- 樋口幸吉 (1988) : 思春期の少女の性非行、産婦人科MOOK、No. 40 ; 279 - 283
- 三浦正子 (1988) : 非行少女と「性」、青少年問題、35 (2) ; 4 - 11
- 横川和夫 (1989) : 競争社会が生んだ未熟な人間たち、季刊教育法、77 ; 88 - 93
- 三宅芳宏 (1989) : 児童虐待 ; 心理判定員のノートから、少年補導、34 (8) ; 4 - 12
- 山本智佳子 (1989) : 虐待する親たち ; 事例を通してみえてくるもの、少年補導、34 (8) ; 14 - 21
- 三浦正子 (1989) : 売春 ; 「転落」と「性春」のはざままで、青年心理、71 ; 51 - 55
- 芹沢俊介 (1989) : 「女子高生コンクリ詰め殺人事件」の構造、少年補導、34 (7) ; 26 - 33
- 内山絢子 (1989) : 少女売春の実態
2. 売春に関わる福祉犯被害者の特性、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、30 (1) ; 124 - 129
- 岡田隆介 (1989) : 男子の倒錯的性非行、児童青年精神医学とその近接領域、30 (5) ; 379 - 387

- 兼松左知子 (1989) : 女・子供の視点から少年事件を考える、朝日新聞社、1 - 277
- 兼松左知子 (1989) : 少女の性と生 - 婦人相談員の立場から -、更生保護、40 (5) ; 38 - 41
- 清水賢二ら (1989) : 少女売春の実態
1. 売春少女の行為実態と意識、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、30 (1) ; 111 - 123
- 酒井 汀 (1990) : 青少年による人間私物か犯罪の深層、青年心理、79 ; 119 - 123
- 田村雅幸 (1990) : 凶悪・特異な少年犯罪、捜査研究、39 (3) ; 79 - 89
- 谷口アキラ (1990) : 思春期電話相談における性被害 (特に男児の性被害)、思春期学、8 (1) ; 70 - 78
- Shower, J.(1991) : Child behavior management cards : prevention tools for teens, Child Abuse & Neglect. , 15 - ; 313 - 316
- Widom, C. S.(1991) : Avoidance of criminality in abused and neglected children, Psychiatry, 54 ; 162 - 174
- 3 - 4. 性行動の後遺症 (身体的 < STD 含む >、心理的) とこれに対する援助
- 小平良貞 (1982) : 高崎市医師会における過去12年間の性病届出数の推移、思春期学、1 ; 33 - 38
- 伊藤富士江 (1985) : 性非行で補導された女子少女の性行動と性意識、科学警察研究所報告 (防犯少年編)、26 (1) ; 58 - 69
- 伊藤富士江 (1985) : 「売春を経験した少女たち」について、青少年問題、32 (11) ; 27 - 33
- 赤松正子 (1986) : 女の子の性体験ショック、少年補導、31 (11) ; 49 - 57
- 岩倉理雄 (1987) : クラジミア感染の臨床疫学像、思春期学、5 (4) ; 579 - 582
- 野口昌良 (1987) : クラジミア感染症、周産期医学、臨時増刊、492 - 496
- 保田仁介ら (1988) : 若年未婚婦人におけるSTDの現況とその問題点、産科と婦人科、55 ; 1381
- 保田仁介 (1988) : 思春期とSTD ; 産婦人科の立場から、思春期学、6 (2) ; 124 - 127
- 保田仁介ら (1988) : 若年未婚婦人におけるSTDの現況とその問題点、産科と婦人科、55 (7) ; 97 - 100
- 保田仁介 (1988) : 変ってきた性病 ; 増える若者の性行為感染症 (STD) の実態、高校教育展望、12 (14) ; 44 - 49
- 黒川義和 (1988) : 性相談の立場からみたSTDをめぐる問題点について、思春期学、6 (2) ; 128 - 131
- 津上久弥 (1988) : 性病動態調査からみた若年層のSTDの傾向、思春期学、6 (2) ; 132 - 137
- 広瀬崇興 (1988) : 若年層のSTD、泌尿器科の立場から、思春期学、6 (2) ; 138
- 菊池和典ら (1988) : 続 低年齢非行、月刊生徒指導、18 (10) ; 1 - 221
- 林謙治ら (1990) : 既婚、未婚の妊婦におけるChlamydia trachomatis 検出率 ; 北海道における field survey、感染症学雑誌、64 (7) ; 830 - 839
- 岩倉弘毅ら (1990) : 最近の思春期女性のクラミジア感染、思春期学、8 (1) ; 28 - 34
- Bereson, A. B. , et al.(1990) : Bacteriologic findings of post - cesarean endometritis in adolescents, Obstet. Gynecol. , 75 ; 627 - 629
- 玉舎輝彦 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 416 - 419
- 中谷一夫 (1990) : クラミジア感染と妊娠歴とくに10代妊娠とその関連について、産婦人科の実際、39 (11) ; 1739 - 1744
4. 思春期の避妊に関する文献
- 4 - 1. 避妊に関する意識と知識の実態

- Schellen (1980) : 思春期における避妊法の社会的教育的状況、思春期医学雑誌、3 ; 76 - 83
- 小田原綾子ら (1987) : 思春期女子 (10代) の性周期に関する研究 (その1)、福岡県看護専科論集、10 ; 163 - 177
- 番内和枝ら (1989) : JFPA オープンハウス・クリニックにおける経口避妊薬内服者の意識調査、思春期学、7 (2) ; 193 - 197
- 福武書店教育研究所 (1989) : 高校生と性 (モノグラフ・高校生 '89, vol. 26)、福武書店 (東京)
- 西浜早苗 (1990) : 思春期男子の性および避妊に対する意識と行動について、思春期学、8 (1) ; 65 - 69
- 4 - 2. 避妊行動の実態 (男女・年齢別、避妊方法、避妊効果等)
- Furstenberg, F. F. (1971) : Birth control experience among pregnant adolescents : the process of unplanned parenthood, Social Problems, 19 (2) ; 192
- Freeman, E. W. ,et al. (1979) : Adolescent contraceptive use : current status of practice and research, Obstetrics and Gynecology, 53 (3) ; 389 - 394
- Schellent, T. M. C. M. (1980) : 思春期における避妊法の社会的教育的状況、思春期医学、3 ; 76 - 83
- Namerow, P. B. et al. (1983) : Follow - up of adolescent family planning clinic users, Family Planning Perspectives, 15 ; 172
- 佐藤恒治 (1984) : 思春期に適した避妊法、思春期学、2 (2) ; 9 - 15
- Mosher, W. D. ,et al. (1987) : First premarital contraceptive use : United States, 1960 - 82, Studies in Family Planning, 18 (2) ; 83 - 95
- Balassone, M. L. (1989) : Risk of contraceptive discontinuation among adolescents, Journal of Adolescent Health Care, 10 ; 527 - 533
- 4 - 3. 避妊行動の要因 (なぜある子は避妊し、ある子は避妊しないのか)
- Gordon, D. E. (1970) : Formal operational thinking : the role of cognitive - developmental process in adolescent decision - making about pregnancy and contraception, Amer. J. Orthopsychiat., 60 (3) ; 346 - 356
- Delamater, J. ,et al. (1978) : Premarital contraceptive use : a test of two models, J. Marriage and the Family, 90 (2) ; 235 - 247
- Zelnik, K. M. et al. (1979) : Reasons for non - use of contraception by sexually active women aged 15 - 19, Family Planning Perspectives, 11 ; 289
- Lincoln (1982) : Teenage Pregnancy, the Problem that hasn't gone away, the Alan Guttmacher Institute (New York)
- Kahn, J. R. ,et al. (1990) : Adolescent contraceptive method choices, Demography, 27 (3) ; 323 - 335
- Weisman, C. S. ,et al. (1991) : Adolescent women's contraceptive decision making, J. Health and Social Behavior, 32 ; 130 - 144
- 4 - 4. 避妊指導
- Ryde - Blomqvist, E. (1978) : Contraception in adolescence - a review of the literature, J. Biosoc. Sci. Suppl. 5, Fertility in Adolescence, P. 129
- Arnold, C. B. (1972) : The sexual behaviour of inner - city adolescent condom users, J. of Sex Research, 8 (4) ; 298
- 荻野 博 (1982) : 思春期の避妊と人工妊娠中絶、

- 産婦人科治療、45 ; 677
- 田中昭一 (1984) : 思春期女子の避妊法について、思春期学、2 (1) ; 71 - 73
- 松本清一 (1984) : 思春期少女の避妊法、思春期学、2 (1) ; 74 - 79
- 石浜淳美 (1984) : 思春期の避妊法について、思春期学、2 (1) ; 80 - 81
- 伊藤俊一 (1984) : 思春期少女の避妊法、思春期学、2 (1) ; 82 - 85
- 加藤宏一 (1984) : 思春期女子の避妊法、思春期学、2 (1) ; 86 - 89
- 武田 敏 (1984) : 思春期の性と避妊法、思春期学、2 (1) ; 89 - 92
- 安永洸彦 (1984) : 未婚若年者の避妊法について、当科外来での方針、思春期学、2 (1) ; 92 - 94
- 桑原惣隆 (1984) : 思春期女子の避妊法について、思春期学、2 (1) ; 94 - 96
- 笠井寛司 (1984) : 思春期少女の避妊について、思春期学、2 (1) ; 97 - 99
- 北尾 学 (1984) : 思春期少女の避妊法 (島根医大産科婦人科の指導方針と方法)、思春期学、2 (1) ; 100 - 102
- 望月真人 (1984) : 思春期少女の避妊指導、産婦人科医の立場から、思春期学、2 (1) ; 103 - 106
- 森 崇英 (1984) : 思春期少女の避妊の指導方針および方法、思春期学、2 (1) ; 106 - 107
- 岡村 靖 (1984) : 思春期女子の性問題、特に性教育における心身医学的配慮の重要性について、思春期学、2 (1) ; 108 - 110
- 永田行博 (1984) : 思春期少女の避妊に関するわれわれの考え、思春期学、2 (1) ; 111 - 112
- 穴水洸彦 (1984) : 未婚若年者の避妊法について、思春期学、2 (1) ; 92 - 93
- 石浜淳美 (1984) : 思春期の避妊法について、思春期学、2 (1) ; 80 - 81
- 佐藤恒治 (1984) : 思春期に適した避妊法、思春期学、2 (2) ; 9 - 15
- 竹井 操 (1984) : 思春期妊娠への教育的対応、思春期学、2 (1) ; 13
- 竹井寛司 (1984) : 思春期少女の避妊について、思春期学、2 (1) ; 97 - 99
- 武田敏ら (1985) : 思春期妊娠への対応、産婦人科の世界、37 (2) ; 139 - 143
- 広井正彦ら (1988) : 性教育としての避妊指導、産科と婦人科、55 (2) ; 2 - 6
- 武田敏ら (1990) : 思春期の避妊と性教育、産婦人科治療、60 (2) ; 139 - 144
- 北村邦夫 (1990) : 避妊指導、助産婦雑誌、44 (2) ; 113 - 119

5. 思春期の妊娠に関する文献

● 5 - 1. 妊娠の実態 (年齢別、望まない妊娠の割合)

- 宮川勇生 (1972) : 若年婦人の妊娠・分娩についての問題とその対策、産婦人科の実際、21 ; 143
- WHO (1975) : Pregnancy and Abortion in Adolescence : Report of a WHO meeting, Geneva, June 24 - 28, 1974, (Technical Report Series No. 583), WHO
- The George Washington University Medical Center (1976) : Adolescent Fertility ; Risks and Consequences, (Population Reports J, 10)
- 林謙治ら (1979) : 15歳以下の妊婦及び分娩例、思春期医学雑誌、2 ; 18 - 24
- 武田敏ら (1979) : 中・高校生妊娠に関する実態調査、思春期医学雑誌、2 ; 95 - 105
- 武田 敏 (1987) : 思春期妊娠調査データ検討、千葉大学教育相談センター年報、5 ; 59
- 石濱淳美 (1979) : 若年者の妊娠、分娩、産婦人科の実際、28 ; 351
- Burst, H. V. (1979) : Adolescent Pregnancies and Problems, Journal of Nurse - Midwifery, 24 (2) ; 19 - 24

- 石濱淳美 (1980) : 日本における思春期の妊娠について、思春期医学雑誌、3 ; 84 - 95
- 松本清一ら (1980) : 産婦人科学会小児・思春期問題委員会報告 (わが国における思春期妊娠)、産婦誌、32 (10) ; 1733 - 1742
- 片桐清一ら (1980) : 十代の未婚者妊娠 160 例についての検討、母性衛生、20 ; 117
- 石濱淳美 (1981) : 十代妊娠の実態とその対策、産婦人科治療、42 (2) ; 178 - 185
- 小平良貞 (1981) : 少産婦人科施設における 10 代患者の検討、思春期医学雑誌、4 ; 7 - 11
- 関克義ら (1981) : 防衛医大病院小児思春期婦人科外来の現況について、思春期医学雑誌、4 ; 12 - 16
- Alan Guttmacher Institute (1981) : Teenage Pregnancy, The Problem That Hasn't Gone Away
- 黒川 慧 (1982) : アメリカの 10 代の母親が直面する問題、現代性教育研究、51 ; 94 - 95
- 玉田太朗ら (1983) : 10 代の分娩、公衆衛生、47 (9) ; 556 - 561
- 石濱淳美ら (1984) : わが国における十代妊娠、産婦人科治療、48 ; 283 - 290
- 片桐清一 (1984) : 若年妊娠の背景、産婦人科治療、48 ; 291 - 297
- 深川ゆかり (1984) : 10 代思春期女子の産婦人科診療施設における保健ニーズ、北九州市八幡地区、思春期学、2 (3) ; 66 - 69
- 松本清一 (1984) : 若年妊娠の問題と対策、産婦人科の世界、36 (7) ; 483 - 489
- 林 謙治 (1984) : 若年妊娠の人口地理学的側面、地域格差と経年的推移について、産婦人科の世界、36 (6) ; 15 - 20
- 矢沢珪二郎 (1984) : 米国における若年妊娠について、産婦人科の世界、36 (7) ; 491 - 496
- 中山徹也ら (1985) (産婦人科学会調査) : 小児・思春期問題委員会報告 (わが国における思春期妊娠第 2 回調査報告)、産婦誌、37 (9) ; 1977 - 1986
- 佐藤恒治 (1985) : 第一線産婦人科の十代妊娠に対する考え方、第 5 回日本思春期学会総会学術講演会抄録集 ; 89
- 片桐清一 (1985) : 女子高校生の妊娠 - その実態と問題点 -、高校教育展望、10 (11) ; 66 - 73
- 高林春夫 (1986) : 当教室における最近 4 年間の若年妊娠分娩について、思春期学、4 (2) ; 5 - 8
- 片桐清一 (1986) : 10 代女子妊娠例 700 例の調査検討、産婦人科の実際、35 ; 401 - 407
- 高橋健太郎ら (1986) : 島根医大産科婦人科外来を訪れた若年妊娠 17 例の考察、思春期学、4 (2) ; 9 - 14
- 佐藤恒治ら (1986) : 十代妊娠の社会医学的背景、思春期学、4 (3) ; 4 - 9
- 岩男寿美子 (1987) : 十代の妊娠、児童心理、41 (2) 102 - 103
- 河野美代子 (1987) : 産婦人科の目から見た「思春期の妊娠」、産婦人科治療、54 (4) ; 409 - 412
- 曾根トシ (1987) : 若年妊娠、社会的側面、周産期医学、17 (1) ; 58 - 62
- 小平良貞 (1987) : 十代妊娠の実態と対策、公衆衛生、51 ; 232 - 238
- 佐藤恒治ら (1988) : 第一線産婦人科医の十代妊娠への対応、思春期学、6 (3) ; 312 - 316
- 稲村博ら (1988) : 思春期の挫折による行動問題 (若年妊娠、非行、自殺など)、小児科診療、51 ; 65 - 70
- 佐藤恒治 (1988) : 10 代妊娠の実態、産婦人科 MOOK、40 ; 184 - 191
- 福田けい子 (1988) : 10 代妊娠のさまざまな実態と背景、助産婦雑誌、42 ; 789 - 795
- 林 謙治 (1988) : 統計からみた 10 代妊娠、助産婦雑誌、42 (10) ; 8 - 12
- 林 謙治 (1988) : 未婚者の妊娠、周産期医学、18 (3) ; 347 - 351
- 林 謙治 (1988) : 10 代の性 ; 国際的視点からみ

- た現状と課題、世界の児童と母性、25 ; 37 - 41
- 林 謙治 (1988) : わが国の10代妊娠の現況と地域保健としての展開、[坂元正一、滝一郎 (編集主幹) : 思春期の産婦人科 (産婦人科MOOK, No. 40) 金原出版 (東京)]、p. 252 - 258
- Trussell, J.(1988) : Teenage pregnancy in the United States, Family Planning Perspectives, 20 (6) ; 262 - 272
- 片桐清一 (1989) : 妊娠した思春期少女の生活背景、思春期学、7 (4) ; 347
- 石井明治ら (1989) : 思春期の月経異常と十代の妊娠、思春期学、7 (4) ; 366 - 369
- 石井とく子 (1989) : 十代妊娠のケース検討、千葉大学教育学部相談研究センター年報、6 ; 117 - 123
- Wielandt, H. (1989) : Sexual behavior, contraception and pregnancy among young females, Acta Obst. Gynecol. Scand. , 68 (3) ; 255 - 259
- 目崎登ら (1990) : 特集 ; 加齢と妊娠・分娩 ; 若年妊娠・分娩の現況と問題点、産婦人科の世界、42 (10) ; 893 - 898
- 高橋健太郎 (1990) : 当科における未婚、十代妊婦の取扱について、思春期学、8 (4) ; 434 - 437
- 笹山高宏ら (1990) : 当院において分娩を経過した十代妊娠の実態、思春期学、8 (3) ; 373 - 378
- 目崎登ら (1990) : 若年妊娠・分娩の現況と問題点、産婦人科の世界、42 ; 893 -
- 牧野田知ら (1990) : 当科における十代妊娠の現状、思春期学、8 (4) ; 396 - 399
- 玉田太朗ら (1990) (産婦人科学会調査) : 小児・思春期問題委員会報告 (わが国における思春期妊娠第3回調査報告)、日産婦誌、42 (4) ; 399 - 408
- 玉田太朗 (1990) : 思春期妊娠 (日産婦学会の調査から)、周産期医学、20 (5) ; 609 - 616
- 石井明治 (1990) : 十代の妊娠について、産婦人科の世界、42 ; 647 - 650
- Fielding, J. E. , et al.(1991) : Adolescent pregnancies in the United States ; a review and recommendations for clinicians and research needs, Am. J. Prev. Med. , 7 (1) ; 47 - 52
- 武田佳彦 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 406
- 玉田太朗 (1991) : わが国における中期中絶の傾向、産科と婦人科、58 (1) ; 19 - 23
- 5 - 2. 妊娠の経過・障害 (身体的、心理的、経済的) とこれに対する援助
- Duenhoelter, J. H. et al.(1975) : Pregnancy performance of patients under fifteen years of age, Obstet. Gynec. , 46, 49
- 古谷博ら (1975) : 若年者の妊娠・分娩・産科と婦人科、42 ; 1292 -
- WHO (1977) : Health Needs of Adolescents : Report of a WHO Expert Committee, (Technical Report Series No. 609), WHO
- Naeye, R. L.(1981) : Teenage and pre-teenaged pregnancies : consequences of the fetal-maternal competition for nutrients, Pediatrics, 67 ; 146 - 150
- 林 謙治 (1982) : ニューヘブン市 (米国コネチカット州) における Young Mothers Program 15年間の軌跡、公衆衛生、46 (3) ; 193 - 198
- 広井正彦ら (1983) : 若年妊娠、小児医学、16 (6) ; 1018 - 1036
- 平野恵子ら (1983) : 看護の立場よりみた10代未婚妊婦の扱いについて、思春期学、1 (2) ; 39 - 42
- 林 謙治 (1984) : 人口動態・静態統計より検討した10代の出産と周産期の諸問題、思春期学、2 (3) ; 37 - 43
- Elster, A. B.(1984) : The effect of maternal age, parity and prenatal care on perinatal outcome in adolescent mothers, Am. J.

- Obstet. Gynecol., 149; 845 - 847
- 石浜淳美 (1984): 我が国における十代の妊娠、産婦人科治療、48 (3); 283 - 290
- 小長井春夫 (1984): 論議が集中した10代のカウンセリング、現代性教育月報、2 (10); 1 - 3
- 高橋健太郎 (1986): 島根医大産婦人科外来を訪れた若年妊娠17例の臨床的考察、思春期学、4 (2); 9 - 14
- 深川ゆかり (1987): 若年妊婦の心理・社会的問題の抽出; 「妊娠適応評価記録票」の使用、思春期学、5 (4); 535 - 541
- 伊吹冷人 (1987): 若年妊娠 - 医学的側面、周産期医学、17 (1); 53 - 57
- 林 謙治 (1987): 思春期性行動の実態; 若年妊婦の問題を中心に、小児科の進歩、7; 60 - 68
- 山田義治ら (1987): 産科異常と年齢、周産期医学、17 (1); 47 - 51
- Hardy, J. B. et al. (1987): The Johns Hopkins adolescent pregnancy program: an evaluation, Obstet. Gynecol., 69; 300 - 306
- Scholl, T. O., et al. (1987): Prenatal care adequacy and the outcome of adolescent pregnancy: effects on weight gain, preterm delivery and birth weight, Obstet. Gynecol., 69; 312 - 316
- 岩崎美枝子 (1988): ACPP (思春期妊娠危機センター) を開設して、助産婦雑誌、42 (10); 811 - 817
- 河合清文ら (1988): 若年妊婦のリスク、周産期医学、18 (3); 393 - 398
- 佐藤恒治ら (1988) *: 10代妊婦の実態、産婦人科Mook, No. 40, p. 184 - 191、金原出版
- 松岡恵ら (1988): 若年・高年の妊娠・分娩 (教育、保健指導の面から)、産婦人科の世界、40; 421 - 424
- 石田貞代 (1988?): 十代妊娠の医学的・社会的問題とその対応に関する文献検討、看護関係雑誌
- 吉田啓治 (1988): 若年・高年の妊娠・分娩; 産科医の立場から、産婦人科の世界、40 (5); 3 - 7
- 岩崎美枝子 (1988): そんなに親が信じられないの? - 思春期妊娠危機センターを開設して -、少年補導、33 (8); 12 - 20
- 河野美代子 (1988): 10代の〈性〉に対する理解と援助の在り方、保健婦雑誌、44 (6); 459 - 464
- Ravindra, C. (1989): Correlation between adolescent nutrition during pregnancy and outcome of low birth weight babies, J. Florida. M. A., 76; 523 - 525
- 荒木日出之助 (1989): 産婦人科領域における外来診療の進歩殊にその重要性和限界、産科と婦人科、56 (4); 537 - 540
- Scholl, T. O., et al. (1989): Effects of early maturation on fetal growth, Ann. Hum. Biol., 16 (4); 335 - 345
- Stephenson, J. N. (1989): Pregnancy testing and counseling, Pediatric Clinics of North America, 36 (3); 681 - 696
- 仲地廣順 (1989): 産科と肥満をめぐる、沖縄医学会雑誌、26 (2); 303 - 306
- 安日一郎 (1990): 未婚・思春期妊娠に対する指導、思春期学、8 (4); 439 - 441
- 平田修司ら (1990): 未婚・思春期妊娠に対する指導、思春期学、8 (4); 409 - 410
- 福田けい子 (1990): 思春期妊娠の取り扱い (助産婦の立場から)、周産期医学、20 (5); 632 - 634
- 堤 邑江 (1990): 十代の未婚妊娠ケースへの援助、周産期医学、20 (5); 635 - 639
- 正角良子 (1990): 思春期の取り扱い (学校現場から)、周産期医学、20 (5); 641 - 644
- 長池博子 (1990): 思春期妊娠の取り扱い (医師の立場から)、周産期医学、20 (5); 629 - 631
- 穴井孝信ら (1990): 未婚・思春期妊婦への指導、思春期学、8 (4); 424 - 445
- 後山尚久 (1990): 未婚・若年妊婦の管理における

問題点とその指導、思春期学、8 (4) ; 427 - 430
田辺清男 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 402 - 405
玉舎輝彦 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 416 - 419
森下一ら (1990) : 未婚・思春期妊婦にたいする指導、思春期学、8 (4) ; 433

6. 思春期の人工妊娠中絶に関する文献

● 6-1. 人工妊娠中絶の実態 (年齢別、妊娠週数別)

Shelton, J. D. (1977) : Very young adolescent women in Georgia : has abortion or contraception lowered their fertility?, AJPH, 67 (7) ; 616 - 620

武田 敏 (1979) : 妊娠中絶に来院した高校生の性意識、思春期医学雑誌、2 ; 106 - 122

荻野 博 (1981) : 思春期の避妊と人工妊娠中絶、産婦人科治療、42 ; 191 - 193

森 一郎 (1983) : 女子思春期をめぐる諸問題、第31回日産婦学会北日本連合地方部会抄録集

深川ゆかり (1984) : 10代思春期女子の産婦人科診療における保健ニーズ ; 北九州八幡地区、思春期学、2 (3) ; 66 - 74

平野恵子ら (1984) : 人工妊娠中絶を繰り返さない溜めの思春期少女の看護症列、思春期学、2 (1) ; 66 - 69

森武史ら (1984) : 10代の妊娠中絶をめぐる諸問題、ペリネイタルケア、3 (1) ; 67 - 83

松本清一 (1984) : 若年妊娠の問題と対策、産婦人科の世界、36 ; 483 - 489

本多 洋 (1987) : 母性保健と家族計画、周産期医学、17 (2) ; 199 - 203

Henshaw, S. K. (1987) : Characteristics of U. S. women having abortions, 1982 - 1983, Family Planning Perspectives, 19 (1) ; 5

- 9

片桐清一 (1988) : 思春期少女の分娩、産婦人科 Mook, No. 40, p. 192 -, 金原出版

田中昭一 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導について、思春期学、8 (4) ; 400 - 401

堀昌志ら (1991) : 当科の十代の考察、思春期学、9 (2) ; 151 - 153

厚生省大臣官房統計情報部 (1991) : 平成2年優生保護統計、厚生統計協会 (東京)

● 6-2. 人工妊娠中絶の要因 (なぜある子は中絶を選び、ある子は出産を選ぶのか)

Pare, C. M. B. and Raven, H. (1970) : Follow-up of patients referred for termination of pregnancy, Lancet, 1 ; 635 - 638

Bracken, M. B. ,et al. (1972) : Factors associated with delay in seeking induced abortions, American J. of Obstetrics and Gynecology, 113 (3) ; 301 - 309

Mallory, G. B. ,et al. (1972) : Factors responsible for delay in obtaining interruption of pregnancy, Obstetrics and Gynecology, 40 (4) ; 556 - 562

Jekel, J. F. ,et al. (1977) : Induced abortion and sterilization among women who became mothers as adolescents, AJPH, 67 (7) ; 621 - 625

Jekel, J. F. (1977) : Primary or secondary prevention of adolescent pregnancies?, J. of School Health, (October, 1977) ; 457 - 461

Fishman, S. H. (1977) : Delivery of abortion in inner-city adolescents, Amer. J. Orthopsychiat. 47 (1) ; 127 - 133

Fielding, W. L. ,et al. (1978) : Comparison of women seeking early and late abortion, American J. of Obstetrics and Gynecology, 131 (3) ; 304 - 310

- 武田敏ら (1979) : 妊娠中絶に来院した高校生の性意識、思春期医学、2 (1) ; 106 - 122
- 曾根トシ (1987) : 若年妊娠 - 社会的側面、周産期医学、17 (1) ; 58 - 62
- Zabin, L. S. ,et al.(1989) : When urban adolescents choose abortion, Family Planning Perspectives, 21 (6) ; 248 - 255
- 長池博子 (1990) : 医療機関との連携カウンセリング、思春期学、8 (3) ; 286 - 290
- Zabin, L. S. , Hirsch M. B. , Boscia, J. A. (1990) : Differential characteristics of adolescent pregnancy test patients: abortion, childbearing and negative test groups, J. Adolescent Health Care, 11 ; 107 - 113
- Cooksey, E. C.(1990) : Factors in the resolution of adolescent premarital pregnancies, Demography, 27 (2) ; 207 - 218
- Worthington, E. L. ,et al.(1991) : Mandatory parental involvement prior to adolescent abortion, J. Adolesc. Health, 12 (2) ; 138 - 142
- 6 - 3. 人工妊娠中絶の経過・障害 (身体的、心理的) とこれに対する援助
- Levin, A. A. ,et al.(1980) : Association of induced abortion with subsequent pregnancy loss, J. A. M. A. , 243 ; 2495 - 2499
- 平野恵子ら (1983) : 看護の立場よりみた10代未婚妊婦の取り扱いについて、思春期学、1 (2) ; 39 - 42
- 平野恵子ら (1983) : 人工妊娠中絶を受ける10代未婚女性の看護、看護学雑誌、47 (6) ; 648 - 651
- Linn, S. et al.(1983) : The relationship between induced abortion and outcome of subsequent pregnancies, Am. J. Obstet. Gynecol. , 146 ; 136 - 140
- Cates, W. et al.(1983) : The risks association with teenage abortion, N. Engl. J. Med., 309 ; 621 - 624
- Stubblefield, P. G. ,et al.(1984) : Fertility after induced abortion: a prospective follow-up study, Obstet. Gynecol. , 63 ; 186 - 193
- 平野恵子ら (1984) : 人工妊娠中絶を繰り返さないための思春期少女の看護症例、思春期学、2 (1) ; 66 - 69
- Daling, J. R. ,et al. (1985) : Tubal infertility in relation to prior induced abortion, Fertil. Steril. , 43 ; 389 - 394
- 伊藤桂子 (1987) : これからの母子保健サービス、周産期医学、17 (10) ; 1481 - 1488
- 小沢陸男 (1988) : 妊娠中絶した思春期の少女たちはどんな人生を歩んでいるか、月刊生徒指導、18 (9) ; 41 - 44
- 笠谷ひとみ (1988) : 10代で人工妊娠中絶を繰り返した一症例、大阪回生病院臨床集、148 ; 75 - 77
- 岡村 靖 (1989) : 人工妊娠中絶のもたらすもの、教育と医学、37 (5) ; 470 - 477
- 荒堀憲二 (1990) : 思春期妊娠の取り扱い (医師の立場から)、周産期医学、20 (5) ; 625 - 628
- 福田けい子 (1990)
- 田村晴代 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 438
- 穴井孝信 (1990) : 未婚・思春期妊婦への指導、思春期学、8 (4) ; 442 - 445
- Kelen, W. et al.(1991) : The special delivery club, Canadian Nurse, 87 (4) ; 21 - 23
- Stahler, G. J. ,et al.(1991) : Evaluating Adolescent Pregnancy Programs: rethinking our priorities, Family Planning Perspectives, 23 (3) ; 129 - 133

7. 思春期の出産 (分娩) とその結果およ

び支援に関する文献

● 7-1. 出産(分娩)の実態(年齢別)

- 品川信良ら(1981): 10代未婚者の分娩や10代未婚の母をめぐる諸問題の検討、産婦人科治療、42; 186 - 190
- Jandle - Jagar (1982): Adolescent Fertility and Family Planning: A Review of selected Research Studies, International Family planning Federation (London)
- Larsson, J. et al.(1983): Teenage deliveries in a swedish population in the 1970's, Acta Obstet. Gynecol. Scand., 62; 467 - 472
- 又吉和美ら(1983): 那覇市内における10代の母親について、母性衛生、23 (4); 100 - 104
- 鈴木美奈みら(1984): 10代の妊娠について、保健所の現場から、思春期学、2 (2); 16 - 22
- 玉田太朗(1984): 10代分娩調査、産婦人科の世界、36; 515 -
- 片桐清一(1984): 若年妊娠の問題点(とくに出産児の養育)、思春期学、2 (3); 9 - 19
- 藤沢範子ら(1984): 当院における10代分娩者の背景、母性衛生、25 (3); 371 - 373
- 林謙治ら(1984): 人口動態・静態統計より検討した10代の出産と周産期の諸問題、思春期学、2 (3); 37 - 43
- 林謙治ら(1984): 統計からみた10代妊娠、助産婦雑誌、42; 784 - 788
- 齊藤剛ら(1985)
- 高林晴夫ら(1986): 当教室における最近4年間の若年妊娠・分娩について、思春期学、4 (2); 5 - 8
- Cutright, P.(1986): Trends in illegitimacy among five English - speaking populations: 1940 - 1980, Demography, 23 (4); 563 - 578
- 齊藤葉子ら(1986): 当院における十代分娩の現況と背景、思春期学、4 (3); 10 - 13
- 田中昭一ら(1988): 当科における過去10年間の十代分娩例の検討、思春期学、6 (2); 200 - 203
- 佐藤妙子(1988): 若年妊産婦への取り組みから母性育成を考える、愛知母性衛生学会誌、6; 25 - 27
- 松井和夫ら(1989): 若年妊娠をめぐる母子保健上の諸問題について(第1報)、思春期学、7 (1); 34 - 39
- 木寺克彦ら(1989): 大阪市における10代女子の出産とその背景、日本公衛誌、36 (11); 773 - 781
- 山際三郎ら(1989): 過去13年間における十代分娩例の検討、思春期学、7 (4); 370 - 374
- 荒堀憲二ら(1989): 十代妊娠の国際間比較、思春期学、7 (4); 375 - 380
- 片桐清一(1990): お産・育児を取り巻く状況の変化; 若年出産・未婚出産、周産期医学臨時増刊号、20 (S); 514 - 519
- 田中昭一ら(1990): 未婚・思春期妊婦に対する指導について、思春期学、8 (4); 400 - 401
- 武田佳彦ら(1990): 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4); 406
- 茂庭将彦ら(1990): 当科における未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4); 413 - 415
- 本庄英雄ら(1990): 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4); 423 - 426
- 後山尚久ら(1990): 未婚・若年妊婦の管理における問題点とその指導、思春期学、8 (4) 427 - 430
- 望月真人ら(1990): 教室における過去十年間の若年妊婦の検討、思春期学、8 (4); 431 - 432
- 高橋健太郎ら(1990): 当科における未婚、十代妊婦の取り扱いについて、思春期学、8 (4); 434 - 437
- 佐藤恒治ら(1991): 十代分娩の実態について、日本産科婦人科学会小児思春期問題委員会報告、思

- 春期学、9 (2) ; 163 - 166
- 宇田川敦子ら (1991) : 当院における十代分娩の臨床的考察、思春期学、9 (2) ; 154 - 157
- 7-2. 出産 (分娩) の要因
- Perlman, S. B. ,et al.(1981) : The use of socioeconomic data to predict Teenage birth rates ; An exploratory study in Massachusetts, Public Health Reports, 96 (4) ; 335 - 341
- 林謙治ら (1984) : 10代妊娠の地域格差および経年的推移に関する一考察、民族衛生、50 (3) ; 131 - 140
- Hayashi, K. ,et al.(1985) : A study on the predictors of teenage pregnancy in japan, Pediatric and Adolescent Gynecology, 3 (2) ; 113 - 129
- Jones, E. F. et al.(1986) : Teenage Pregnancy in Industrialized Countries, Yale University Press
- 井上民子 (1987) : 若年出産した女性とその夫の特性、「昭和61年度特別演習」集録、国立公衆衛生院、198 - 206
- 越智和子 (1988) : 若年産の社会的背景と問題点、民医連医療、196 ; 50 - 51
- 荒堀憲二ら (1989) : 十代妊娠の国際比較、思春期学、7 (4) ; 375 - 380
- 宮原 忍 (1990) : 思春期妊娠 (海外の動向)、周産期医学、20 (5) ; 617 - 623
- 7-3. 出産 (分娩) の経過・障害 (身体的、心理的) とこれに対する支援
- Nortman, D.(1974) : Parental age as a factor in pregnancy outcome and chile development, Reports on Population/Family Planning, 16 ; 1 - 51
- 品川信良 (1981) : 10代未婚者の分娩や10代未婚母をめぐる諸問題の検討、産婦人科治療、42 (2) ; 186 - 190
- 上原茂樹ら (1983) : 当院における十代の妊娠・分娩、産科と婦人科、50 ; 197 - 201
- 玉田太郎 (1984) : 10代分娩調査、産婦人科の世界、36 (7) ; 515 - 520
- 斉藤葉子 (1986) : 当院における十代分娩の現況と背景、思春期学、4 (3) ; 10 - 13
- 品川信良ら (1987) : 10代女子の妊娠、産科と婦人科、54 ; 695 - 698
- 北尾学ら (1987) : 若年妊娠と問題点、産婦人科治療、54 ; 405 -
- 野村雪光ら (1987) : 若年の妊婦における妊娠や分娩の管理と児の養育上の問題点、周産期医学、17 ; 1075 -
- 伊吹令人 (1987) : 若年妊娠、医学的側面、周産期医学、17 (1) ; 53 - 57
- 河合清文ら (1988) : 若年妊婦のリスク、周産期医学、18 ; 393 - 397
- 片桐清一 (1988) : 10代女子の分娩と低出生体重児、助産婦雑誌、42 (4) ; 328 - 333
- 山際三郎ら (1989) : 過去13年間における十代分娩例の検討、思春期学、7 (4) ; 370 - 374
- 石塚文平 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 407 - 408
- 岡村 裕 (1990) : 若年・未婚妊娠分娩例の臨床体験、バリネイタルケア、9 (12) ; 15 - 19
- 本庄英雄ら (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 423 - 426
- 茂庭将彦 (1990) : 当科における未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学、8 (4) ; 413 - 415
- 7-4. 出産 (分娩) の結果 (育児、結婚/離婚、学業、就職、生計等における問題) とこれに対する支援
- Bacon, L.(1974) : Early motherhood, accelerated role transition, and social pathology, Social Forces, 52 (3) ; 333 - 341
- Williams, T. M.(1974) : Child rearing practices

- of young mothers: what we know, how it matters, why it's so little, Amer. J. Orthopsychiat., 44 (1); 70 - 75
- 村上清志 (1974): 未婚の母が精神状態に異常を来たし児童の養育・監護が著しく書けていた事例、児童相談事例集、6巻、p. 133 - 150
- Lorenzi, M. E., et al. (1975): School age parents: how permanent a relationship?, Adolescence, 12 (45); 13 - 22
- 林謙治ら (1980): 母子管理票からみた若年出産婦の実態; 特に育児環境および乳児検診との関係について、小児保健研究、39 (3/4); 176 - 181
- 太田典礼 (1980): 未婚・結婚・離婚、SEXUAL MEDICINE、7 (5); 40 - 43
- 北村邦夫ら (1982): 10代分娩の児の養育状態調査、3歳児検診のデータより、思春期学、1; 29 - 32
- 林謙治 (1982): ニューヘブン市 (米国コネチカット州) における young Mothers Program 15年間の軌跡、公衆衛生、46 (3); 193 - 198
- 富田光一 (1982): アメリカにおける10代の母親、学校保健研究、24 (7); 320 - 324
- 安田美弥子ら (1983): 若年と高年の母親の育児態度の特徴と援助のあり方について、小児保健研究、42 (1); 121 - 122
- 真田知子ら (1984): 10代で妊娠・分娩した事例報告、思春期学、2 (3); 44 - 49
- 片桐清一 (1984): 若年出産の問題点 - とくに出産児の養育 -、思春期学、2 (3); 9 - 19
- 古賀覚子 (1984): 自立する未婚の母に思う、児童養護、15 (1); 6 - 7
- Vinture, A. M., et al. (1984): Infant health consequences of childbearing by teenagers and old mothers, Public Health Reports, 99 (2); 138 - 146
- カックス梢 (1985): アメリカにおける思春期問題の福祉実践活動、世界の児童と母性、18; 7 - 11
- 林謙治 (1985): 若年婦人の妊娠、特に出産に関する全国統計、周産期医学、15; 227
- 橋本澄代ら (1986): 若年母親の育児の現状とその問題点、小児保健研究、45 (2); 104
- 外間登美子ら (1986): 若年母親から出生した乳児の健康診査成績、思春期学、4 (2); 20 - 24
- 品川信良 (1987): 若年者の妊娠分娩、産婦人科治療、55 (2); 183 - 187
- 宮崎俊策 (1987): ソーシャル・ワーカーをめぐる諸問題; 未完成で未婚の母となるK子の事例を中心として、熊本短期大学附属社会福祉研究所年報、14/15; 23 - 34
- 外間登美子ら (1987): 若年母親の育児に関する調査成績、思春期学、5 (1); 10 - 14
- 井垣章二 (1988): 現代青少年問題としての十代未婚母、同志社大学評論社会学、35; 1 - 47
- McLaughlin, S. D., et al. (1988): Do adolescents who relinquish their children fare better or worse than those who raise them?, Family Planning Perspective, 20 (1); 25 - 32
- 松岡恵ら (1988): 若年・高年の妊娠・分娩; 教育、保健指導の面から、産婦人科の世界、40 (5); 9 - 12
- 藤江のどか (1988): 10代妊娠における心理的社会的背景、助産婦雑誌、42 (10); 803 - 810
- 江口篤寿 (1988): 性教育の周辺を考える、保健の科学、30 (2); 68 - 74
- 柿澤彰 (1988): 転換期を迎えた里親制度と里親会に関する一考察、日本福祉大学福祉研究、56, 57; 171 - 182
- 金子宣淳ら (1988): 地域母子保健対策のシステム化に関する調査、埼玉県医学会雑誌、23 (5); 1084 - 1091
- 松井和夫ら (1989): 若年妊娠をめぐる母子保健上の諸問題について、思春期学、7 (1); 34 - 39
- 高里鈴代 (1989): 十代の妊娠相談からみた思春期の性と社会環境、思春期学、7 (4); 343 - 346
- Herr, K. M. (1989): Adoption vs. parenting

- decisions among pregnant adolescents, Adolescence, 24 (96) ; 795 - 799
- 長畦すめる (1989) : 単身婦人、未婚の母、シングルペアレントの居住型施設 HUIS IN DE BOCHT, 世界の児童と母性, 26 ; 48 - 52
- 杉浦佳子ら (1989) : 母性観の変遷と母性教育、神戸市立看護短期大学紀要, 8 ; 55 - 65
- 杉山陽一 (1990) : 未婚・思春期妊婦に対する問題点と指導、思春期学, 8 (4) ; 420
- 堤 邑江 (1990) : 10代の未婚妊娠ケースへの援助、周産期医学, 20 (5) ; 43 - 47
- Hanson, R. A.(1990) : Initial parenting attitudes of pregnant adolescents and a comparison with the decision about adoption, Adolescence, 25 (99) ; 629 - 643
- 梅森公代 (1990) : 乳児院での若年未婚の母を通してみる家族援助、世界の児童と母性, 28 ; 32 - 36
- 笠井寛司 (1990) : 未婚・思春期妊婦への臨床対応、思春期学, 8 (4) ; 421 - 422
- 木寺克彦 (1990) : 若年母親の育児についての調査、小児保健研究, 49 (6) ; 670 - 675
- 桑原惣隆 (1990) : 当教室における未婚・思春期妊婦に対する指導、思春期学, 8 (4) ; 411 - 412
- Seymore, C. ,et al.(1990) : Chile development knowledge, childrearing attitudes, and social support among first - and second - time adolescent mothers, J. Adolescent Health Care, 11 (4) ; 343 - 350
- Resnick, M. D. ,et al.(1990) : Characteristics of unmarried adolescent mothers, Amer. J. Orthopsychiatry, 60 (4) ; 577 - 584
- Sandven, K.(1990) : Informal adoption among black adolescent mothers, Amer. J. Orthopsychiat. , 60 (2) ; 210 - 224
- Yoest, c.(1990) : Points of lights, Chile Today, 19 (5) ; 8 - 12
- Kalmuss, D. ,et al.(1991) : Adoption versus parenting among young pregnant women, Family Planning Perspectives, 23 (1) ; 17 - 23
- Radin, J. M. ,et al.(1991) : The long term benefits of a comprehensive teenage pregnancy program, Clinical Pediatrics, 30 (5) ; 305 - 309
- 名取初美 (1991) : 妊娠・分娩・育児期における若年妊婦とその家族の看護、思春期学, 9 (2) ; 158 - 162
- 田口美智子ら (1991) : 若年妊産婦教室が母性意識に与える影響、思春期学, 9 (2) ; 167 - 174
- 佐藤妙子ら (1991) : 若年母親から出生した乳幼児の健康 (1歳6カ月までの健康診査成績の分析)、思春期学, 9 (2) ; 175 - 181

8. 性教育に関する文献

(地域思春期保健活動を含む)

- Foltz, A - M. ,et al.(1972) : Pregnancy and special education : who stays in school? , AJPH, 62 (12) ; 1612 - 1619
- 平井信義 (1978) : 性教育の理論と展開、児童研究, 57 ; 53 - 59
- Levenson, P. ,et al.(1979) : A comprehensive interactional model for health education delivery to teenage mothers, J. of School Health, (Sep. 1979) ; 393 - 396
- 田能村祐麒 (1980) : 学校教育と性教育、小児保健研究, 39 (3, 4) ; 136 - 142
- 田能村祐麒 (1980) : 性教育と学校保健、思春期医学, 3 ; 174 - 183
- 佐藤ち江 (1980) : 学校における性教育 2. SEXUAL MEDICINE, 7 (6) ; 27 - 29
- 佐藤ち江 (1980) : 学校における性教育 3. SEXUALMEDICINE, 7 (7) ; 32 - 33
- 黒川義和 (1980) : 性教育への展望、小児保健研究,

- 39 (3, 4) ; 123 - 127
- 松岡 弘 (1980) : 中学生用性教育内容に関する意識調査、学校保健研究、22 (4) ; 185 - 192
- 松岡 弘 (1980) : 中学生・親・先生は「性」の何を学びたいか、青少年、120 ; 22 - 24
- 藤本統紀子 (1980) : 家庭における性の扱い ; わが家の性教育、青年心理、22 ; 94 - 101
- Grandguillaume (1980) * : 性教育を考えて思春期 (13 - 20 歳) に何をなすべきか、
- 梨本道夫 (1980) : 人間教育としての性教育を、母と子、26 (2) ; 13 - 21
- レスター・A・カーケンダール (1980) : 人間関係学からみた性教育の課題、現代性教育研究、42 ; 8 - 19
- SOL GORDON (1980) : 性教育と学校保健指導、思春期医学、3 ; 158 - 166
- 宮原 忍 (1980) : 母子保健と性教育、小児保健研究、39 (3/4) ; 128 - 131
- Ratman, S. S. ,et al.(1980) : 性教育と学校保健活動、思春期医学、3 ; 167 - 173
- 花島あさ子ら (1980) : 座談会 ; 続・養護教諭の専門性を生かして性教育をどう進めたらよいか?、現代性教育研究、41 ; 68 - 73
- 間宮 武 (1980) : これからの性教育をどう進めたらよいか?、現代性教育研究、42 ; 32 - 41
- 小向司ら (1981) : (座談会) 20代の学生・教師・医師にとって性教育とはなにか、現代性教育研究、45 ; 39 - 47
- 加藤宏一 (1981) : 性教育について、思春期医学、4 ; 23 - 27、思春期医学雑誌、3 ; 151 - 157
- 松岡 弘 (1981) : 高校生用性教育内容に関する意識調査、学校保健研究 (?) ; 581 - 587
- 今村要道 (1981) : 学校における性教育と産婦人科医への望み、産婦人科治療、42 (2) ; 198 - 202
- 北沢杏子 (1981) : 絵本にみる各国性教育事情、産科と婦人科、48 (6) ; 33 - 39
- 橋場賢一 (1981) : 聾学校中学部道徳における性教育、現代性教育研究月報、49 ; 52 - 57
- 間宮 武 (1981) : わが国の性教育はなぜ定着しないのか、現代性教育研究月報、45 ; 52 - 61
- 荻野 博 (1981) : 性教育の基礎としてのヒューマンセクシュアリティ、現代性教育研究、48 ; 8 - 11
- 内山 源 (1981) : 最近の海外諸国の性教育の動向、学校保健研究、23 (8) ; 357 - 361
- 黒川 慧 (1981) : 米国ミシガン州の性教育指導、子供と家庭、18 (3) ; 46 - 48
- 武田敏ら (1981) : 学校教育の一環としての性教育、産科と婦人科、48 (6) ; 15 - 20
- 武田敏ら (1981) : 思春期の欲求不満と性教育、思春期医学、4 ; 28 - 32
- 佐藤ち江 (1981) : 初潮教育における問題点、SEXUAL MEDICINE、8 (2) ; 44 - 47
- 佐藤俊夫 (1981) : 学校における性教育の現状と今後の課題、学校保健研究、23 (8) ; 370 - 371
- 石原昌江 (1981) : 小学校における性教育についての研究、岡山大学教育学部集録、58 ; 133 - 202
- 黒田芳夫 (1981) : ライフサイクルにおける性と学校における性教育、学校保健研究、23 (8) ; 352 - 356
- 塚本信之 (1981) : 性教育に関する考察、鶴見大紀要、18 ; 181 - 186
- 「現代性教育研究」編集部 (1981) : 海外諸国の性教育の現状と我が国の性教育の問題点、現代性教育研究、45 ; 67 - 71
- 井形 端 (1981) : 多様な価値観の中で性教育に取り組むアメリカの教師たち、現代性教育研究、48 ; 12 - 18
- 鳥山由子 (1981) : 盲学高中学部理科における性教育、現代性教育研究、49 ; 44 - 51
- 山本 杉 (1981) : 家庭における性教育のあり方、産科と婦人科、48 (6) ; 21 - 32
- 広井正彦ら (1981) : 思春期の性教育と産婦人科医の役割、産婦人科治療、42 (2) ; 194 - 197
- 福原保子 (1981) : 小学校の性指導、保健の科学、

- 23 (8) ; 560 - 566
- 松本清一 (1982) : 諸外国における性教育の現状、産婦人科治療、45 (6) ; 673 - 676
- 林 謙治 (1982) : 米国における10代の妊娠とその対応、公衆衛生産、46 (3) ; 156 - 160
- 武田敏ら (1982) * : 現代性教育のあり方、産婦人科治療、45 ; 677 - 683
- 武田敏ら (1982) : 患者に対する性教育と指導、臨床婦人科産科、36 (6) ; 443 - 448
- 穴水陽子 (1982) : 私がみてきた米国高校の「性教育・強姦」、SEXUAL MEDICINE、9 (6) ; 22 - 25
- 大佐貴正博 (1982) : 家庭における男子の性教育の扱い方、教育心理、30 (3) ; 36 - 37
- 平井正和ら (1982) : 学校管理職と性教育の実践、現代性教育研究、51 ; 104 - 113
- 門野晴子ら (1982) : 女の立場から見た女の一生・性医学・性教育、現代性教育研究、54 ; 86 - 95
- 岡村靖ら (1982) : 思春期への心身医学的アプローチ、性教育における心身医学的配慮の重要性、臨床産、36 ; 277 - 283
- 田能村祐麒 (1982) : 学校における性教育、助産婦雑誌、36 (13) ; 86 - 94
- 田能村祐麒 (1982) : 思春期の避妊・中絶と性教育、学校保健研究、24 (7) ; 315 - 319
- 松本清一 (1982) : 妊婦褥婦の性教育の必要性、周産期医学、12 (4) ; 481 - 483
- 松本清一 (1982) : 性生活指導および性教育と助産婦、助産婦雑誌、36 (13) ; 60 - 67
- 佐藤ち江 (1982) : 思春期の性と性教育、助産婦雑誌、36 (13) ; 75 - 85
- 富安瑛躬 (1982) : フランスの青少年の性行動の実態と性教育、現代性教育研究、52 ; 116 - 117
- 佐々木次男 (1982) : 学級担任にとっての性教育の実践、現代性教育研究、53 ; 104 - 111
- 品川信良 (1982) : 思春期の性及び性教育と問題点、日本医師会雑誌、88 (10) ; 1029 - 1031
- 井形 端 (1983) : 性教育先進国の12年間の軌跡、現代性教育研究月報、1 (4) ; 1 - 3
- 池上千寿子ら (1983) : 座談会1 性教育ってなんだろう、助産婦雑誌、37 (2) ; 10 - 25
- 福原保子ら (1983) : 座談会2 地域における性教育の展開、助産婦雑誌、37 (2) ; 26 - 42
- 福原保子 (1983) : 小学校での性教育に果たす養護教諭の役割、教育と医学、31 (6) ; 87 - 93
- 池田正子 (1983) : 性教育絵本の分析 (1)、(2)、山梨県女子短大紀要、16 ; 39 - 58 26 (11) ; 78 - 83
- 飯田哲哉 (1983) : ちえ遅れの子の性教育 (4) 男子夢精と自慰の指導、地域保護、14 (2) ; 30 - 38
- 佐古かず子 (1983) : 助産婦による女子高生の性教育、母性衛生、24 (3, 4) ; 211 - 216
- 河内清彦 (1983) : 米国における視覚障害者 (児) のための性教育とカウンセリングプログラム、現代性教育研究、57 ; 60 - 69
- 中村健二 (1983) : ちえ遅れの子の性教育、地域保健、14 (2) ; 56 - 61
- 川越慎之助ら (1983) : 小・中・高校における性教育への認識と実態、母性衛生、24 (2) ; 83 - 88
- 黒川義和 (1983) : 性教育の歴史的変遷、小児医学、16 (6) ; 1037 - 1054
- 桑江秀夫 (1983) : 聾学校等部における性教育計画と実践、現代性教育研究、57 ; 70 - 77
- 河東田博 (1983) : ちえ遅れの子の性教育 ; 異性への関心と交際の指導、地域保健、14 (2) ; 39 - 48
- 松本清一 (1983) : 婦人科からみた性教育、小児医学、16 (6) ; 1065 - 85
- 高野 陽 (1983) : 小児科から見た性教育、小児医学、16 (6) ; 1086 - 1106
- 武川行男 (1983) : 家庭における性教育、児童心理、27 (14) ; 108 - 116
- 国崎弘ら (1983) : 性教育における養護教諭の新しい課題、現代性教育研究、52 ; 108 - 115

- 田能村祐麒 (1983) : 学校での性教育の在り方を考える、現代性教育研究月報、2 (1) ; 4 - 5
- 飯田雅子 (1983) : ちえ遅れの子の性教育 (3) 女子生理と自慰の指導、地域保護、14 (2) ; 21 - 29
- 伊藤 巖 (1983) : ちえ遅れの子の教育 性的非行と周囲の支え方、地域保護、14 (2) ; 49 - 55
- 大井清吉 (1983) : ちえ遅れの子の性教育 性の発達と留意点、地域保健、14 (2) ; 14 - 20
- 武田敏ら (1983) : 0歳からの性と性教育、小児医学、16 (6) ; 1055 - 1064
- 武田敏ら (1983) : 10代の性行動と妊娠、母子保健情報、6 ; 34 - 37
- 石原昌江 (1983) : 養護教諭養成課程における性教育についての研究、岡山大学教育学部集録、62 ; 107 - 119
- 吉村良江 (1983) : 性教育は学校でやるべきなのか、現代性教育研究月報、1 (5) ; 4 - 6
- 山本哲士 (1983) : 学校化社会における性教育の限界、現代性教育研究月報、56 ; 76 - 86
- 松本清一 (1983) : 大学における「ヒューマンセクシュアリティ」の教育の現状、現代性教育研究月報、1 (2) ; 1 - 3
- 石田文太 (1984) : 小田原市某定時制高校男女生徒に対する医学的性教育後の自由感想文55編の分析、思春期学、2 (3) ; 87 - 92
- 平井信義 (1984) : 性教育はまさに人間教育、健康な子ども、142 ; 11 - 13
- 石田文太 (1984) : 小田原市某定時制高校男女生徒に対する医学的性教育後の自由感想文55編の分析、思春期学、2 (3) ; 87 - 92
- 小代誠一郎 (1984) : 学校教育の立場から 思春期性教育の現状、ペリネイタルケア、3 (7) ; 63 - 69
- 松本清一 (1984) : マスコミの性情報と性教育、学校保健研究、26 (11) ; 502 - 506
- 葛葉 睦 (1984) : 性情報の氾濫の中学校ではどう
- 取り組むか、健康な子ども、142 ; 6 - 10
- ピアネール多美子 (1984) : 性教育から共同生活授業への展開、現代性教育研究月報、2 (1) ; 6 - 8
- 国崎 弘 (1984) : 多様な参加者に見る性教育の広がり、現代性教育研究月報、2 (9) ; 1 - 3
- 日本性教育協会 (1984) : 性教育指導者要綱改訂とその考え方、現代性教育月報、2 (4) ; 1 - 2
- 黒川義和 (1984) : 助産婦学校における性教育、ペリネイタルケア、3 (7) ; 23 - 27
- 日本性教育協会 (1984) : 第一回性教育指導者講座を終わって、現代性教育月報、2 (6) ; 1 - 3
- 小比賀鈴子ら (1984) : スウェーデンと日本の性教育と福祉、現代性教育研究月報、2 (12) ; 1 - 4
- 寺脇 保 (1984) : 性教育の原点、思春期学、2 (2) ; 4 - 6
- 東京都幼稚園・小・中・高等学校性教育研究連絡協議会 (1987) : 幼稚園から高校までで一貫した性教育をめざして、現代性教育研究月報、5 (2) ; 1 - 5
- 福原保子 (1984) : 現代っ子の性教育1、教育心理、32 (4) ; 66 - 72
- 福原保子 (1984) : 現代っ子の性教育2、教育心理、32 (5) ; 66 - 72
- 福原保子 (1984) : 現代っ子の性教育3、教育心理、32 (6) ; 68 - 73
- 島崎継雄 (1984) : 社会と連携するアメリカの性教育、現代性教育研究月報、2 (11) ; 4 - 8
- Senanayake, P. (1984) : Problems of adolescent sex, Int. J. Gynaecol. Obstet. , 22 (6) ; 457 - 461
- 水川清香 (1984) : 性教育の今日と明日、青年心理、47 ; 34 - 62
- 米家佐奈恵 (1984) : スウェーデンの性教育の現状とわれわれの課題、ペリネイタルケア、3 (7) ; 85 - 91
- 大野宣美ら (1984) : 家庭における性教育の一考察、

- 福岡県看護学校論集、7 ; 107 - 117 23
- 岡村 靖 (1984) : 思春期女子の性問題、思春期学、2 (1) ; 108 - 110
- 長田尚夫 (1984) : 男の子の性教育、ペリネイタルケア、3 (7) ; 41 - 48
- 正木かよ (1984) : 地域と性教育へのかかわり、ペリネイタルケア、3 (7) ; 49 - 52
- 千保 潔 (1984) : 日常の産婦人科診療から見た学校保健と性教育について、東京小児科医会報、3 (1) ; 16 - 17
- 加藤宏一 (1984) : 思春期の患者の性指導と看護、看護技術、30 (14) ; 1918 - 1923
- 浅井春夫 (1985) : 養護施設における性教育の試み、社会福祉研究、53 ; 136 - 152
- 垣内愛子 (1985) : PTA 発案の性教育、現代性教育月報、3 (10) ; 6 - 7
- 黒川義和 (1985) : 我が国の性教育の歴史と現状、周産期医学、15 (2) ; 315 - 318
- 佐々木道子 (1985) : 性教育と保健室、保健の科学、27 (10) ; 698 - 700
- 松本清一 (1985) : 情報化社会と性教育、公衆衛生、49 (11) ; 741 - 746
- Roemer, R. et al. (1985) : Sex education laws and policies, Studies in Family Planning, 16 (4) ; 219 - 231
- Hayashi, K. (1985) : Sex education in Japan, Acta Paediatrica Japonica, 27 (3) ; 349 - 354
- 樋口 昇 (1985) : プロになることの難しさ、少年補導、351 ; 4 - 11
- 岡本一彦 (1985) : 諸外国の性教育の歴史と現状、周産期医学、15 (2) ; 319 - 324
- 長池博子ら (1985) : ディスカッション〈産婦人科医のための性教育指導セミナー〉、産婦人科の世界、37 (10) ; 53 - 59
- 野末源一 (1985) : 性教育の在り方、産婦人科治療、51 (4) ; 820 - 824
- 渡辺静江 (1985) : 性教育を担当にタッチして、保健の科学、27 (9) ; 625 - 628
- 宮原 忍 (1985) : 第15回全国性教育研究大会印象記、現代性教育研究月報、3 (9) ; 1 - 3
- 宮原 忍 (1985) : 思春期の性教育、産婦人科の実際、34 (12) ; 1949 - 1953
- 宮原 忍 (1985) : 10代の性 ; 日本とアメリカ ; 世界の児童と母性、18 ; 2 - 6
- 宮原 忍 (1985) : 現代の身体医学からみた青春、教育と医学、33 (4) ; 330 - 335
- 安彦忠彦 (1985) : 最近のアメリカ教育1 ; ミドル・スクールの性教育 ; その一例、児童心理、39 (10) ; 153 - 157
- 森山 豊 (1985) : 産婦人科医のための性教育指導セミナー、産婦人科の世界、37 (10) ; 3 - 59
- 村松松ら (1985) : 家族計画指導の対象とカウンセリング、産婦人科の世界、37 (臨増) ; 482 - 483
- 間宮 武 (1986) : 性教育の今日的課題、教育心理、34 (8) ; 6 - 11
- 吉村良江 (1986) : 生と性を学ぶ、産婦人科の世界、38 (11) ; 61 - 68
- 岡村 清 (1986) : 生教育における心への配慮の重要性、産婦人科の世界、38 (11) ; 17 -
- 細野純子ら (1986) : 教育現場における児童生徒の問題行動に関する教育臨床学的研究 ; 第2報 ; 女子中学生の性的非行の事例をめぐって、愛知教育大学研究報告、35 (教育科学編) ; 209 - 221
- 安部優里 (1986) : 中学生の性教育における家族の関わり方についての調査、思春期学、4 (3) ; 45 - 50
- 笹川麗子 (1986) : 全校で取り組む性教育をめざして、学校保健研究、28 (2) ; 57 - 60
- 大阪市教育委員会 (1986) : 性教育指導手引書 ; 小学校編、1 - 125
- 田村喜代 (1986) : 中学生の性と性教育、こころの科学、6 ; 53 - 58
- 塚田忠正 (1986) : 高校生用性教育映画の制作における一考察、産婦人科の世界、38 (11) ; 69 -

- 松本清一 (1986) : 産婦人科医のための性教育指導セミナー; キーノート、産婦人科の世界、38 (11) ; 1039 - 1043
- 福本絹子ら (1986) : 京都府養護教員研究会会員勤務校における性教育の実態調査、大阪成蹊女子短大紀要、23 ; 155 - 165
- 城戸 晃 (1986) : 小学校における性教育の取り組み、産婦人科の世界、38 (11) ; 49 - 59
- 京都府総合教育センター (1986) : 性に関わる教育の調査研究; 第1年次まとめ、1 - 75
- 豊島区立高松小学校 (1986) : 新しい性教育への取り組み、児童心理、40 (15) ; 190 - 199
- 樋口行作 (1986) : 筑紫少女苑における性教育、刑政、97 (9) ; 44 - 54
- 菅沼和恵 (1986) : 性教育のプログラムとその実践、教育心理、34 (8) ; 22 - 45
- 杉浦準一 (1986) : 養護施設の性教育に求められるもの、児童養護、17 (3) ; 47 - 49
- Cernada, G. P., et al. (1986) : Implications for adolescent sex education in Taiwan, Studies in Family Planning, 17 (4) ; 181 - 187
- 松岡 弘 (1986) : 中学校における性の授業研究、学校保健研究、28 (10) ; 478 - 484
- 松岡 弘 (1986) : 小学校における性の授業研究、学校保健研究、28 (9) ; 423 - 431
- 松岡 弘 (1986) : 性教育に役立つ参考資料一覧、教育心理学、34 (8) ; 58 - 59
- 松岡 弘 (1986) : 小学生用性教育教材の試作研究、学校保健研究、28 (7) ; 332 - 339
- 武田敏ら (1986) : 意思決定・行動選択の性教育、産婦人科の世界、38 (11) ; 73 - 79
- 黒川義和 (1986) : 思春期の性教育、看護MOOK、21 ; 48 - 57
- 北沢杏子 (1986) : 教育媒体の効果的作成及び活用上の具体的工夫、学校保健研究、28 (9) ; 417 - 422
- 伊敷和枝 (1986) : 性教育に関する研究; 小学5年生男女生徒の映写学習による性教育後の調査の考察、沖縄の小児保健、13 ; 19 - 23
- 吉村良江 (1986) : 特別研究推進校として取り組んだ性教育、現代性教育研究月報、4 (5) ; 1 - 5
- 重川嗣郎 (1986) : 愛媛県における性教育の状況、産婦人科の世界、38 (11) ; 33 - 38
- 田能村祐麒 (1986) : 幼稚園・小・中・高等学校における性教育の現況と問題点、思春期学、4 (1) ; 37 - 42
- 田能村祐麒 (1986) : 性教育の効用と限界、教育心理、34 (8) ; 52 - 57 70 - 77
- 島田愛子 (1986) : 高校生を対象とした性教育の授業研究、学校保健研究、28 (2) ; 71 - 75
- 今村要道 (1986) : 中学校における性教育、学校保健研究、28 (3) ; 146 - 150
- 林 謙治 (1986) : 性教育の歴史と将来の展望、学校保健研究、28 (2) ; 52 - 56
- 山本直英 (1986) : 性教育の現状と展望、こころの科学、9 ; 21 - 27
- 田能村祐麒 (1987) : 日本における性教育はなぜ定着しにくいのか、児童心理、41 (2) ;
- 藤本 巖 (1987) : 「いのち」を大切にす性教育、児童心理、41 (2) ; 52 - 61
- 松下恭子 (1987) : 家庭から教師に望む性教育、児童心理、41 (2) ; 26 - 31
- 君和田和一 (1987) : エイズについて教えられますか、月刊生徒指導、17 (8) ; 26 - 31
- 一ノ瀬裕子ら (1987) : 家庭の中の性教育における母親の意識調査、福岡県看護専校論集、10 ; 81 - 99
- ピアネール多美子 (1987) : 性教育先進国に学ぶ、児童心理、41 (2) ; 65 - 73
- 安達優雅子 (1987) : 子供の中の性、児童心理、41 (2) ; 38 - 42
- 日本性教育協会 (1987) : 中学・高校・大学生の性行動白書、小学館 (東京)
- 明石要一 (1987) : エイズ以後の学校体制; チェッ

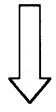
- クポイントはどこか、学校運営研究、
 荒居百合子：Q. 高校生の娘から「恋人ができた」と
 うちあげられました、健康な子供、19 (2) ; 28
 - 30
- 松岡 弘 (1987) : 中学生用性教育教材の試作研究、
学校保健研究、28 (6) ; 295 - 300
- パックスマンら (1987) : 性教育に関する法と政策、
子どもと家庭、24 (6) ; 21 - 26
- 加藤美智子 (1987) : 女子中学生のための性教育、
看護 MOOK、26 ; 53 - 61
- 荒井 (1987) : スウェーデンにおける幼児のための
 性教育、子供と家庭、24 (6) ; 14 - 20
- 新牧賢三郎 (1987) : <専門家に聞く>エイズ。学
 校がしなければならないことはなにか、学校運
 営研究、26 (11) ; 16 - 33
- 松岡 弘 (1987) : 性的発達と性教育、こころの科
 学、11 ; 91 - 97
- 吉岡 孝 (1987) : 性非行と性教育、青少年問題、
 34 (8) ; 40 - 41
- 元野 巖 (1987) : 男子達の性欲と性教育の課題、
月刊生徒指導、17 (13) ; 56 - 61
- 性教育後の調査の考察、沖縄の小児保健、13 ; 19
 - 23
- 坪田秀雄 (1987) : 教育研究室だより、児童心理、
 41 (2) ; 134 - 135
- 黒川義和 (1987) : エイズ以後の性教育 どこが問
 い直されているか、学校運営研究、26 (11) ; 34
 - 39
- 黒川義和 (1987) : 性の教育 ; Q & A ワンポイン
 トアドバイス、児童心理、41 (2) ; 107 - 115
- 豊島区立高松小学校 (1987) : 性教育へのスタート、
児童心理、41 (2) ; 78 - 88
- 原野広太郎 (1987) : 教師のための児童理解 (10)、
児童心理、41 (2) ; 144 - 155
- 大島 清 (1987) : 動物的感性と性教育、児童心理、
 41 (2) ; 104 - 105
- 二宮 皓 (1987) : 欧米諸国のエイズ予防教育の動
 向、月刊生徒指導、17 ; 46 - 52
- 北山郁子 (1987) : 男の子への性教育、月刊生徒指
 導、17 (13) ; 28 - 34
- 大谷尚子 (1987) : 小学校における男女共修の性教
 育について、茨城大学教育学部紀要 (教育科学)、
 36 ; 113 - 128
- 新宿教育研究会 (1987) : 性教育の授業を考察する、
現代性教育月報、5 (12) ; 1 - 5
- 関 冨雄 (1987) : 子供の中の性 ; 異性の教師への
 関心と反発、児童心理、41 (2) ; 42 - 46
- 池田 (1987) : 中学校における性教育の推進と継続
 をはかるために、現代性教育研究月報、5 (5) ;
 1 - 5
- 樋口恵子ら (1987) : “おぼんリブ” 盛り上がる、
 されど振り向けばお嬢さまブーム。あらまあ、児
 童心理、41 (2) ; 117 - 133
- 武川行男 (1987) : 小学校における性教育のねらい
 と新しい課題、児童心理、41 (2) ; 12 - 18
- 橘 雅子 (1987) : 女子大生のエイズに関する理解
 と保健教育、女子栄養大学紀要、18 ; 269 - 272
- 林 謙治 (1987) : 思春期の動向、公衆衛生、51
 (4) ; 224 - 229
- 伊藤桂子 (1987) : 地域における思春期保健活動、
公衆衛生、51 (4) ; 263 - 271
- 飯田 稔 (1987) : 教師から家庭に望む性教育、児
 童心理、41 (2) ; 32 - 37
- 松本清一 (1987) : 生涯教育と性教育を考える、現
 代性教育研究月報、5 (3) ; 1 - 5
- 本多 洋 (1987) : 映画 ; 日母性教育シリーズ、ペ
 リネイタルケア、6 (8) ; 42 - 47
- 上川 毅 (1987) : 研究校として全校で実践した性
 教育、現代性教育研究月報、5 (4) ; 1 - 3
- 四日市市立教育研究所 (1987) : 小・中学校教師の
 性教育に関する意識調査
- 四日市市立教育研究所 (1988) : 性教育に関する保
 護者の意識調査
- 北九州市立教育センター (1988) : 女子児童生徒の
 問題行動への対応、1 - 70
- 松本清一 (1988) : 母性教育・母性保健指導、その

- 現状と課題、母子保健情報、16；4 - 10
- 肥塚由美子 (1988)：地域における性教育の窓口から、保健婦雑誌、44 (6)；39 - 42
- 飯村富子 (1988)：思春期保健の取組み；市と関係機関の連携を考える、保健婦雑誌、44 (6)；466 - 472
- 田淵友佳子 (1988)：児童期における性教育、大谷女子大学教育学会誌、14；124 - 135
- 能登八重子ら (1988)：苫小牧市における教師と父母への性教育についてのアンケート調査、思春期学、6 (4)；416 - 422
- 吉村伸子ら (1988)：思春期保健の地域支援システムに関する研究、高校生およびその両親を対象としたアンケート調査、思春期学、6 (1)；60 - 65
- 斎藤茂子 (1988)：住民主体の地域保健と学校保健の連携を考える、思春期学、6 (3)；323 - 328
- 坂下貞雄 (1988)：学校における性教育の現状と問題点、福井県教育研究所研究紀要、93；89 - 100
- 藤ノ木光枝 (1988)：思春期の子供の関心事；母親が対応しにくいことならについての調査、思春期学、6 (3)；270 - 274
- 近藤俊郎 (1988)：私の考える性教育、助産婦、42 (6)；27 - 31
- 京都府総合教育センター (1988)：性に関わる教育の調査研究；第3年次まとめ、1 - 97
- 池上千寿子 (1988)：ハワイ州ファミリープランニングサービス Family Planning Service と十代、産婦人科MOOK、40；273 - 278
- 内山 源 (1988)：学校保健教育と AIDS に関する教育、茨城大学教育学部教育研究所紀要、20；139 - 147
- 漆川和子 (1988)：性教育を考える、母性衛生、29 (2)；206 - 210
- 鳥取県教育委員会 (1988)：性に関する指導の手引き (高等学校編)、1 - 54
- 吉村伸子ら (1988)：思春期保健の地域支援システムに関する研究、思春期学、6 (1)；60 - 65
- 米田昌代 (1988)：教育学科学生の性教育に関する研究、思春期学、6 (1)；54 - 59
- 宮本茂雄ら (1988)：エイズに対する態度と知識水準 (1)；学童の親の調査、教育相談研究センター年報、5号、p. 47 - 58
- 宮原 忍 (1988)：母子保健を学ぶために；性教育文献解説、周産期医学、18 (6)；903 - 906
- 宮原 忍 (1988)：思春期保健と性教育、母子保健情報、17；18 - 25
- 野末源一 (1988)：子供をとりまく危険因子 5 < 性の問題 >、産婦人科の世界、40 夏季増刊号；223 - 229
- 佐賀県教育委員会 (1988)：若者たちは、今；思春期・親と子、家庭教育資料 No. 5
- 東京都 (1988)：性教育の手引き (幼稚園・小学校編)、1 - 76
- 徳島県教育研修センター (1988)：性に関する教育についての保護者の意識調査 - 幼稚園・小学校・中学校・高等学校保護者対象、1 - 145
- 日本家族計画協会 (1988)：第2回健全母性育成事業研究会報告書、日本家族計画協会 (東京)
- 荻野 博 (1988)：性教育の現状と問題点、産婦人科MOOK、40；247 - 251
- 小倉久美子ら (1988)：女子少年処遇、矯正協会百周年記念論文集、2；803 - 851
- 米田昌代ら (1988)：教育学科学生の性教育観に関する研究、思春期学、6 (1)；54 - 59
- 島本雅典 (1988)：児童青年期における性問題
1. 児童期及び青年期における性知識の現状及び今後の性教育について、児童青年精神医学とその近接領域、29 (2)；87 - 91
- 山中京子 (1989)：続々・ワヒネ (少女) たちの午後；十代のための妊娠・出産・育児教室、少年補導、34 (6)；44 - 51
- 北沢杏子 (1989)：家庭における性教育、566 - 572
- 北沢杏子 (1989)：こんな事聞かれたらどうするの？、児童心理、43 (15)；116 - 122

- 田能村祐麒 (1989) : 性はどのように捉えられ、扱われているか、性教育の立場から、思春期学、7 (1) ; 19 - 22
- 富山県射水郡小杉町立中大間山小学校 (1989) : 性教育実践、児童心理、43 (8) ; 177 - 180
- 井川三千子 (1989) : 学校における性教育の役割と課題、児童心理、43 (15) ; 61 - 69
- 平山朝生 (1989) : いのちの教育、児童心理、43 (15) ; 76 - 82
- 池田ら (1989) : 「性教育」の現状と課題、高知大学教育学部研究報告、41 ; 4 - 5
- 家本芳郎 (1989) : 妊娠した生徒をめぐる指導、月刊ホームルーム、14 (1) ; 8 - 11
- 浅井春夫 (1989) : 養護施設における性教育、社会福祉研究、46 ; 83 - 90
- 広井正彦 (1989) : 思春期における性教育、母性衛生、30 (4) ; 527
- 石田文太 (1989) : 中学校における性教育の校医、東京小児科学会報、8 (4) ; 17 - 21
- 山本チエ子 (1989) : 性教育についての意識調査、思春期学、7 (1) ; 90 - 93
- McAnarney, E. R. et al. (1989) : The prevention of adolescent pregnancy, JAMA, 262 (1) ; 78 - 82
- 田能村祐麒 (1988) : 学校における性教育の現状、産婦人科MOOK、40 ; 259 - 263
- 田能村祐麒 (1989) : 性教育のすすめ方、こころの科学、25 ; 78 - 82
- 田能村祐麒 (1989) : 性教育の意義と役割、児童心理、43 (15) ; 54 - 60
- 田能村祐麒 (1989) : 性教育の立場から、ホルモンと臨床、37 (7) ; 641 - 644
- 田能村祐麒 (1989) : 性はどのように捉えられ扱われているか、思春期学、7 (1) ; 19 - 22
- 佐藤一豊 (1989) : しなやかな心とからだをめざして、児童心理、43 (15) ; 70 - 75
- 滋賀県総合教育センター (1989) : 青少年の健全育成に関する研究 - 保護者の性の教育に関する意識について -、31 ; 1 - 30
- 東京都 (1989) : 性教育の手引き (総合編)、1 - 85
- 埼玉県立南教育センター (1989) : 学校における「性に関する指導」の推進に関する調査研究、1 - 35
- 松本清一 (1989) : 産婦人科からみた思春期保健、日本医師会雑誌、101 (10) ; 1669 - 1672
- 佐野奎子 (1990) : Q, 異性の二次性徴を小学生にどう理解させますか、健康なこども、19 (2) ; 18 - 20
- 林 謙治 (1990) : 学校保健における性教育と地域の連携、周産期医学、20 (5) ; 109 - 112
- 林 謙治 (1990) : 性教育アニメ「ふたりの調べ」を監修して、世界と人口 (?) ; 32 - 35
- 正角良子 (1990) : 思春期妊娠の取り扱い ; 学校現場から、周産期医学、20 (5) ; 49 - 52
- 竹内末希代 (1990) : 高等学校の性教育、周産期医学、20 (5) ; 81 - 85
- 高石昌弘 (1990) : 学校保健の現状と展望、周産期医学、20 (5) ; 53 - 57
- 武田敏ら (1990) : タイの保健社会問題の一面と性教育見聞、学校保健研究、32 (9) ; 431 - 435
- 武田敏ら (1990) : STDと学校教育、周産期医学、20 (5) ; 89 - 93
- 武田 敏 (1990) : 思春期の避妊と性教育、産婦人科治療、60 (2) ; 139 - 144
- 佐古かず子 (1990) : 助産婦と性教育、周産期医学、20 (5) ; 86 - 88
- 田能村祐麒 (1990) : 性教育の理念と方法、周産期医学、20 (5) ; 63 - 66
- 島崎継雄 (1990) : 我が国の性教育の現状 - その背後にあるもの、周産期医学、20 (5) ; 59 - 62
- 長嶺敬彦 (1990) : 生物学的、心理学的、社会学的モデルからみた性教育の視点、保健の科学、32 (4) ; 259 - 263
- 黒川義和 (1990) : 性意識の変化と性教育の流れ、学校保健研究、32 (6) ; 260 - 263
- 鈴木典子 (1990) : 性教育の取り組みから自立をと

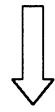
- らえる、児童養護、20 (3) ; 31 - 34
- 小林英子 (1990) : 小学校の性教育、周産期医学、20 (5) ; 71 - 74
- 北沢杏子 (1990) : 処置教育ではない性教育を、健康な子供、19 (1) ; 17 - 22
- 北沢杏子 (1990) : 保健室の性教育110番 (3)、健康な子供、19 (1) ; 52 - 53
- 北沢杏子 (1990) : 保健室の性教育110番 (4)、健康な子供、19 (2) ; 48 - 49
- 北沢杏子 (1990) : 保健室の性教育110番 (5)、健康な子供、19 (3) ; 44 - 45
- 北沢杏子 (1990) : 保健室の性教育110番 (6)、健康な子供、19 (4) ; 36 - 37
- 北沢杏子 (1990) : 保健室の性教育110番 (7)、健康な子供、19 (5) ; 42 - 43
- 今川潔子 (1990) : Q. 教師・保護者の性教育へのとまどいをなくす方法は、健康な子ども、19 (2) ; 15 - 17
- 星野章範 (1990) : 性教育のおはなし (1)、健康な子ども、19 (1) ; 51
- 星野章範 (1990) : 性教育のおはなし (2)、健康な子ども、19 (2) ; 55
- 星野章範 (1990) : 性教育のおはなし (3)、健康な子ども、19 (3) ; 56
- 星野章範 (1990) : 性教育のおはなし (3)、健康な子ども、19 (3) ; 56
- 星野章範 (1990) : 性教育のおはなし (5)、健康な子ども、19 (5) ; 24
- 福本絹子 (1990) : Q. 15歳の息子の机からポルノ雑誌が出てきて驚いています、健康な子ども、19 (2) ; 24 - 25
- 岩崎 緑 (1990) : Q. 高校生に性の現実を効果的に教える方法は、健康な子ども、19 (2) ; 12 - 14
- 久米美代子 (1990) : 助産婦教育の中で性教育を考える<第1報>、母性衛生、31 (2) ; 282 - 286
- 常盤洋子ら (1990) : 助産婦教育の中で性教育を考える<第2報>、母性衛生、31 (2) ; 287 - 292
- 松村恵子ら (1990) : 助産婦教育の中で性教育を考える<第3報>、母性衛生、31 (2) ; 293 - 297
- 石原義夫ら (1990) : 性に関する指導の手引き-中学生向け-、山梨県教育委員会山梨県心の健康教育推進委員会、1 - 47
- 江幡玲子 (1990) : 思春期のカウンセリング-事例を通して考える、周産期医学、20 (5) ; 161 - 164
- 安達倭雅子 (1990) : 小学生と性教育、児童心理、44 (5) ; 174 - 180
- 村瀬幸浩 (1990) : 人間の理解と性教育、周産期医学、20 (5) ; 67 - 70
- 宮原 忍 (1990) : 思春期妊娠; 海外の動向、周産期医学、20 (5) ; 25 - 31
- 幾嶋栄三郎 (1990) : 学校保健と地域の連携、周産期医学、20 (5) ; 697 - 700
- 青木幸夫 (1990) : 中学校の性教育、周産期医学、20 (5) ; 669 - 672
- 青葉久夫 (1990) : 性教育産婦人科医、周産期医学、20 (5) ; 687 - 690
- 朝日俊彦 (1990) : Q. 初潮を迎えた娘に父親は何をしてやれますか、健康な子供、19 (2) ; 26 - 27
- 春日井市思春期教育研究委員会学校教育部会 (1990) : 高校生の性教育 (H.R.における指導手引き書)、春日井市民部青少年婦人課
- Moton, K. I. (1990) : Meaningful Involvement in instrumental activity and well-being: studies of older adolescents and at risk urban teen-agers, American J. of Community Psychology, 18 (2) ; 297 - 320
- Meyer, V. F. (1991) : A critique of adolescent pregnancy prevention research: the invisible white male, Adolescence, 26 (101) ; 217 - 222
- O'Hare, D. ,et al. (1991) : Workshop on education and outreach initiatives, Bull.

- N. Y. Acad. Med. , 67 (3) ; 304 - 307
- Sowers, J. G.(1991) : Preventive strategies in education : history, current practices, and future trends regarding substance abuse and pregnancy prevention, Bull. N. Y. Acad. Med. , 67 (3) ; 256 - 269
- 石原義夫ら (1991) : 性に関する指導の手引き - 高校生向け -、山梨県教育委員会山梨県心の健康教育推進委員会、1 - 51
- 稲垣良典 : 性教育はなぜ必要か
- 大谷光長 : 学校における性教育
- 山本直英 (1992) : これからの性教育 ; 中学校では何をどう押えるか、中学教育、(2月増刊号) ; 8 - 18
- ## 9. 法規 (規制)
- 黒川 慧 (1984) : アメリカの10代の妊娠と政府の政策、青少年問題、31 (1) ; 34 - 38
- 安部哲夫 (1985) : 青少年の性的保護と刑事規制の限界 ; 青少年保護育成条例を中心に、刑法雑誌、26 (3, 4) ; 171 - 187
- 安部哲夫 (1985) : 風俗環境浄化に対する社会的統制形態 ; 西ドイツの現状を中心に、法律時報、57 (7) ; 38 - 43
- 前野育三 (1985) : 青少年条例を根拠とする警察活動、法律時報、57 (7) ; 28 - 32
- Roemer, R.(1985) : Legislation on contraception and abortion for adolescents, Studies in Family Planning, 16 (5) ; 241 - 251
- 沢登俊夫 (1985) : 風俗営業法改正の経緯と新風営法の性格、法律時報、57 (7) ; 8 - 12
- 伊藤一美 (1985) : 少年を取り巻く有害環境の浄化と風俗適正化法、警察学論集、38 (6) ; 27 - 45
- 所 一彦 (1985) : 性の規制をめぐる大人と子供、刑法雑誌、26 (3, 4) ; 188 - 198
- 宮崎礼彦 (1985) : 青少年保護育成条例による「淫行」処罰の合憲性、法律の広場、39 (1) ; 71 - 80
- 杉浦 恂 (1986) : 青少年保護育成条例のいん行の意義、研修、451 ; 53 - 62
- 前野育三 (1986) : 青少年保護育成条例最高裁大法廷判決をめぐって、月刊法学教室、65 ; 6 - 10
- 矢島基美 (1986) : 福岡県青少年保護育成条例「淫行」処罰規定の合憲性、上智法学論集、29 (1) ; 243 - 266
- 中村久留美 (1986) : 青少年の性 (その1)、時の法令、1274 ; 38 - 43
- 中村久留美 (1986) : 青少年の性 (その2)、時の法令、1286 ; 73 - 79
- 石毛平藏 (1986) : 未成年者と性、捜査研究、35 (1) ; 101 - 105
- 柏原伸行 (1986) : 青少年保護育成条例と憲法 (1)、青少年問題、33 (1) ; 46 - 47
- 柏原伸行 (1986) : 青少年保護育成条例と憲法 (2)、青少年問題、33 (2) ; 44 - 48
- Sundstrom - Feigenberg, K.(1988) : Reproductive Health and Reproductive freedom : maternal health care and family planning in the swedish health system, Women Health, 13 (3 - 4) ; 35 - 55
- Yates, S., et al.(1988) : Judging maturity in the courts, Amer. J. Public Health, 78 (6) ; 648 - 649
- 佐々木光明 (1989) : 少年法改正「論議」の現在 ; 女子校生監禁殺害事件報告の問題点、法学セミナー、418 ; 14 - 17
- Silber, T. J.(1989) : Ethical and legal issues relating to abortion in adolescence, Pediatric Annals, 18 (4) ; 231 - 237
- グループ女の人権と性 (1990) : リプロダクティブ・ヘルスを私たちの手に、1 - 50
- Brahams, D.(1991) : Abortion for 12 - year - old against mothes wishes, Lancet, 337 ; 1337 - 1338



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1. 思春期の性生理(二次性徴、月経、射精、自慰など)
2. 思春期の性意識(性心理)
 - 2-1. 性意識(性知識、性規範を含む)の実態(男女・年齢別)
 - 2-2. 性意識形成の要因(環境その他、早熟化、マスコミの影響など)
3. 思春期の性行動
 - 3-1. 性行動の実態(男女・年齢別頻度、状況など)
 - 3-2. 性行動の要因(なぜある子は性行動を起こし、ある子は起こさないのか)
 - 3-3. 特に問題性の強い性行動(売買春、強姦、家族内性愛など)
 - 3-4. 性行動の後遺症(身体的<STD 含む>、心理的)とこれに対する援助
4. 思春期の避妊
 - 4-1. 避妊に関する意識と知識の実態
 - 4-2. 避妊行動の実態(男女・年齢別、避妊方法、避妊効果等)
 - 4-3. 避妊行動の要因(なぜある子は避妊し、ある子は避妊しないのか)
 - 4-4. 避妊指導
5. 思春期の妊娠
 - 5-1. 妊娠の実態(年齢別、望まない妊娠の割合)
 - 5-2. 妊娠の経過・障害(身体的、心理的、経済的)とこれに対する援助
6. 思春期の人工妊娠中絶
 - 6-1. 人工妊娠中絶の実態(年齢別、妊娠週数別)
 - 6-2. 人工妊娠中絶の要因(なぜある子は中絶を選び、ある子は出産を選ぶのか)
 - 6-3. 人工妊娠中絶の経過・障害(身体的、心理的)とこれに対する援助
7. 思春期の出産(分娩)とその結果
 - 7-1. 出産(分娩)の実態(年齢別)
 - 7-2. 出産(分娩)の要因
 - 7-3. 出産(分娩)の経過・障害(身体的、心理的)とこれに対する支援
 - 7-4. 出産の結果(育児、結婚/離婚、学業、就職、生計等における問題)とこれに対する支援
8. 性教育(地域思春期保健活動を含む)
9. 法規(規制)